Configurations for GNU Emacs

Takaaki Ishikawa

Table of Contents
1. はじめに
<u>2.1. init.el のヘッダ</u>
2.3. リストで関数を渡せる autoload-if-found を使う
<u>2.4. [eval-after-autoload-func.el] 遅延読み込み</u>
<u>2.4.1. マクロ版</u>
<u>2.4.2. 関数版</u>
<u>2.5. パス設定</u>
<u>2.6. 警告の抑制</u>
<u>2.7. 起動時間の計測</u>
<u>2.8. C-x C-c で容易に Emacs を終了させないように質問する</u>
<u>2.8.1. キーバインド</u>
<u>3. コア設定</u>
<u>3.1. 言語/文字コード</u>
<u>3.2. 日本語入力</u>
<u>3.3. 検索</u>
<u>3.4. 基本キーバインド</u>
<u>3.5. ナローイングするか</u>
<u>3.6. バッファの終わりでの newline を禁止する</u>
3.7. 常に最終行に一行追加する
<u>3.8. 長い文章を右端で常に折り返す</u>
3.9. バッファが外部から編集された場合に自動で再読み込みする
3.10. 同じバッファ名が開かれた場合に区別する
<u>3.11. マウスで選択した領域を自動コピー</u>
<u>4. カーソル移動</u>
<u>4.1. バッファ内のカーソル移動</u>
<u>4.2. バッファ間のカーソル移動</u>
4.3. スクロールを制御
4.4. スクロールで表示を重複させる行数
4.5. [SmoothScroll.el] カーソル固定でスクロールする
<u>4.5.1. キーバインド</u>
<u>4.6. [point-undo.el] カーソル位置を簡単にたどる</u>
<u>4.6.1. キーバインド</u>
4.7. [cycle-buffer.el] カレントバッファの表示切り替え
4.7.1. キーバインド 4.7.1. キーバインド
4.8. [bm.el] カーソル位置をブックマークして追う
<u>5. 編集サポート</u>

- 5.1. 矩形編集/連番入力
- 5.2. Yank 時に装飾を取る
- 5.3. ファイル保存時に時間を記録する
- 5.4. 選択リージョンを使って検索
- 5.5. ChangeLog モード
- 5.6. テキストモード
- 5.7. C/C++モード
- 5.8. Info モード
- 5.9. スペルチェック
 - 5.9.1. キーバインド
- 5.10. リアルタイムスペルチェック
- 5.11. [latex-math-preview.el] TeX 数式をプレビュー
- <u>5.12. [po-mode.el] 翻訳ファイルの編集</u>
- <u>5.13. [word-count.el] リージョン内の文字をカウントする</u> 5.13.1. キーバインド
- 5.14. [yatex.el] YaTeX モード 5.15. [wclock.el] 世界時計
- 5.16. [vasnippet.el] Emacs 用のテンプレートシステム
- 5.17. [sdic.el] 英辞郎で英単語を調べる
 - **5.17.1.** キーバインド
- 5.18. MacOS の dictionary.app で COBUILD5 の辞書をひく
 - 5.18.1. マイナーモード化
 - 5.18.2. キーバインド
- 5.19. [lookup.el] 辞書
 - <u>5.19.1. キーバインド</u>
- 5.20. [cacoo] Cacoo で描く
- 5.21. [iedit] バッファ内の同じ文字列を一度に編集する
- 5.22. [web-mode] HTML 編集
- 5.23. [zencoding-mode] HTML 編集の高速化
- 6. 表示サポート
 - 6.1. モードラインのモード名を短くする
 - 6.2. モードラインの Narrow を短くする
 - 6.3. モードラインの色をカスタマイズする
 - 6.3.1. 色セット例
 - 6.4. visible-bell のカスタマイズ
 - <u>6.5.</u> 常に **scratch** を表示して起動する
 - 6.6. バッテリー情報をモードラインに表示する
 - 6.7. スクロールバーを非表示にする
 - 6.8. ツールバーを非表示にする
 - 6.9. 起動時のスプラッシュ画面を表示しない
 - 6.10. カーソル行の行数をモードラインに表示する
 - 6.11. カーソル行の関数名をモードラインに表示する
 - 6.12. 時刻をモードラインに表示する
 - 6.13. 対応するカッコをハイライトする
 - 6.14. 全角スペースと行末タブ/半角スペースを強調表示する
 - 6.15. [migemo.el] ローマ字入力で日本語を検索する
 - 6.16. [anything.el] 何でも絞り込みインターフェイス

6.16.1. キーバインド

6.17. [stripe-buffer.el] テーブルの色をストライプにする

<u>7. メディアサポート</u>

- 7.1. [bongo.el] Emacs のバッファで音楽ライブラリを管理する
- 7.2. [GoogleMaps.el] GoogleMaps を Emacs 内で使う
- 7.3. [org-google-weather.el] org-agenda に天気を表示する

8. 履歴/ファイル管理

- 8.1. Undo バッファを無限に取る
- 8.2. バッファ保存時にバックアップファイルを生成する
- 8.3. ミニバッファの履歴を保存しリストアする
- 8.4. 履歴サイズを大きくする
- 8.5. Emacs 終了時に開いていたバッファを起動時に復元する
- 8.6. 最近開いたファイルリストを保持
- <u>8.7. 深夜にバッファを自動整理する</u>
- 8.8. [auto-save-buffers.el] 一定間隔でバッファを保存する
- 8.9. [backup-dir.el] バックアップファイルを一箇所に集める
- 8.10. [session.el] 様々な履歴を保存し復元に利用する
- 8.11. [wakatime-mode.el] WakaTime を利用して作業記録する

9. 開発サポート

- 9.1. 便利キーバインド
- 9.2. [gist.el] Gist インターフェイス
- 9.3. [doxymacs.el] Doxygen のコメントを簡単に入力する
- 9.4. [matlab.el] Matlab 用の設定
- 9.5. [auto-complete.el] 自動補完機能
- 9.6. [auto-complete-clang.el] オムニ補完
 - 9.6.1. 参考サイト
- 9.7. [hideshowvis.el] 関数の表示/非表示
 - <u>9.7.1. キーバインド</u>

10. Org Mode

- 10.1. 基本設定
- 10.2. contribution を使う
- 10.3. iCal との連携
- 10.4. スピードコマンド
- 10.5. Pomodoro
- 10.6. face 関連
- <u>10.7. TODO キーワードのカスタマイズ</u>
- 10.8. ImageMagick を使って様々な画像をインライン表示する
- 10.9. [org-agenda]
 - <u>10.9.1. キーバインド</u>
- 10.10. [appt.el] アラーム設定
- <u>10.11. [org-capture] 高速にメモを取る</u>
- 10.12. [org-refile]
- 10.13. [org-babel] 基本設定
- 10.14. [org-babel] ソースブロックの入力キーをカスタマイズ
- 10.15. [MobileOrg] iOS との連携
- 10.16. [org-tree-slide.el] Org でプレゼンテーション
- 10.17. [org-fstree] ディレクトリ構造を読み取る

```
10.18. [calfw-org] calfw に org の予定を表示する
 10.19. [org-export-generic] エクスポート機能を拡張する
 10.20. [org-odt] ODT 形式に出力
 10.21. [org-crypt] ツリーを暗号化する
 10.22. README を常に org-mode で開く
 10.23. Growlnotify と org-mode でアラーム管理
   10.23.1. キーバインド
 10.24. その他
 <u>10.25. org-mode の latex エクスポート関数をオーバーライド</u>
11. フォント/配色関連
 11.1. 正規表現を見やすくする
 11.2. 設定ファイルを見やすくする
 11.3. カーソル行に色をつける
 11.4. カーソルの色
 11.5. カーソルを点滅させない
 11.6. カーソル位置のフォントを確認
 11.7. フォント設定
   11.7.1. フォントのインストール方法
   11.7.2. フォントチェック用コード
 11.8. 行間を制御する
 11.9. フォントサイズを制御する
   <u>11.9.1. キーバインド</u>
 11.10. パッチをカラフルに表示する
 11.11. 背景を黒系色にする
 11.12. [rainbow-mode.el] 配色のリアルタイム確認
   11.12.1. 色一覧
12. フレーム/ウィンドウ制御
 12.1. 起動時の設定
 12.2. [elscreen.el] Emacs バッファをタブ化
 12.3. [e2wm.el] 二画面表示
 12.4. [frame-ctr.el] キーボードでフレームの場所を移す
   <u>12.4.1. キーバインド</u>
 12.5. [popwin.el] ポップアップウィンドウの制御
13. ユーティリティ関数
 13.1. [pomodoro.el] ポモドーロの実践
 <u>13.2. [utility.el] 自作してテスト中の便利関数群</u>
14. provide
```

1. はじめに

- この文章は、org2dokuwiki.plを使って生成しています。
- <u>init.el</u> 本体は、<u>github</u> に公開しています。
- <u>init.org</u> から <u>init.el</u>、<u>init.pdf</u>、<u>init.odt</u>、<u>wiki</u> を生成しています。
- 一部の関数定義を utility.el に分離しています。

• コピペだけで動かなかった場合は、ページ最下部のコメント欄にご意見をどうぞ。

2. 基本設定

この設定群を利用するために設定です。おそらく記述しておかないと動きません。

2.1. init.el のヘッダ

```
;;;; Configurations for Emacs
;;;;

Takaaki ISHIKAWA <takaxp@ieee.org>
;;;; Cite: http://www.mygooglest.com/fni/dot-emacs.html (GREAT!)
```

2.2. cl を使う

http://lisperblog.blogspot.com/2008/12/blog-post_18.html

```
(eval-when-compile (require 'cl))
```

2.3. リストで関数を渡せる autoload-if-found を使う

http://d.hatena.ne.jp/jimo1001/20090921/1253525484

eval-after-load とのペアでマクロ化したバージョンもある(次章参照)。

http://e-arrows.sakura.ne.jp/2010/03/macros-in-emacs-el.html

2.4. [eval-after-autoload-func.el] 遅延読み込み

Twitterでぼやいていたら<u>@cvmat</u>さんが降臨して次のマクロを作ってくださいました。 感謝感謝。

https://gist.github.com/3513287

autoload-if-found で遅延読み込みすると、eval-after-load と組み合わせるので、どうしてもインデントが増えてしまう。

例えば、cycle-buffer を遅延読み込みしたい場合、 setq で変数を書き換えするために 随分とインデントが進んでいます。

これを、次の eval-after-autoload-func.el を使うと、非常にシンプルになる。行数も 桁数もスッキリです。

```
(eval-after-autoload-if-found
'(cycle-buffer cycle-buffer-backward) "cycle-buffer" nil t nil
'((setq cycle-buffer-allow-visible t)
  (setq cycle-buffer-show-length 12)
  (setq cycle-buffer-show-format '(" <(%s)>" . " %s"))))
```

2.4.1. マクロ版

https://gist.github.com/3499459

```
(defmacro eval-after-autoload-if-found
 (functions file &optional docstring interactive type &rest after-body)
 "Set up autoload and eval-after-load for FUNCTIONS iff. FILE has found."
 `(let* ((functions ,functions)
              (docstring , docstring)
              (interactive ,interactive)
             (type , type)
              (file , file))
      (when (locate-library file)
        (mapc (lambda (func)
                     (autoload func file docstring interactive type))
                   (if (listp functions)
                         functions
                     (list functions)))
        ,@(when after-body
               `((eval-after-load file '(progn ,@after-body))))
        t)))
```

2.4.2. 関数版

https://gist.github.com/3513287

2.5. パス設定

以下の2つ変数は、.emacsで defconst しています。APIの鍵などは、 private.el なるファイルを別途置いて、このファイルにある変数を上書きするようにして記載しています。

```
(setq default-path "~/.emacs.d/")
(setq default-private-path "~/.emacs.d/")
```

2.6. 警告の抑制

起動時に警告が出てうっとうしい場合に使います。起動直後に呼ばれるように、 .emacs の上の方に書いておくとよいと思います。

http://d.hatena.ne.jp/kitokitoki/20100425/p1

2.7. 起動時間の計測

emacs-init-time を実行すると、Emacsの起動にかかった時間が表示されます。個人的にはミリ秒表示が好きなので、手を加えます。元ネタは<u>すぎゃーんメモ</u>からです。

2.8. C-x C-c で容易に Emacs を終了させないように質問する

C-x C-c をこの関数に割り当てると、任意の質問文で入力を求められる。

代替方法として、

```
(setq confirm-kill-emacs 'y-or-n-p)
```

がある。

2.8.1. キーバインド

Show yes or no when you try to kill Emacs

```
; (global-set-key (kbd "C-x C-c") 'confirm-save-buffers-kill-emacs)
```

3. コア設定

Emacs を操作して文書編集する上で欠かせない設定です。

3.1. 言語/文字コード

徹底的にUTF-8に合わせます。

save-buffer-coding-system を設定すると、 buffer-file-coding-system の 値を無視して、指定した save-buffer-coding-system の値でバッファを保存する。 つまり、 buffer-file-coding-system に統一するなら設定不要。

set-default-coding-systems か prefer-coding-system を設定すると、同時に file-name-coding-system=、=set-terminal-coding-system=、=set-keyboard-coding-system も同時に設定される。=prefer-coding-system=は、文字コード自動判定の最上位判定項目を設定する。

set-buffer-file-coding-system は、Xとのデータやりとりを設定する。

```
(prefer-coding-system 'utf-8-unix)
  (set-language-environment "Japanese")
  (set-locale-environment "en_US.UTF-8"); "ja_JP.UTF-8"
  (set-default-coding-systems 'utf-8-unix)
  (set-selection-coding-system 'utf-8-unix)
  (set-buffer-file-coding-system 'utf-8-unix)
;  (set-clipboard-coding-system 'utf-8); included by set-selection-coding-system
;  (set-keyboard-coding-system 'utf-8); configured by prefer-coding-system
;  (set-terminal-coding-system 'utf-8); configured by prefer-coding-system
;  (set puffer-file-coding-system 'utf-8); utf-8-unix
;  (set save-buffer-coding-system 'utf-8-unix); nil
;  (set-buffer-process-coding-system 'utf-8 'utf-8)
;  (set process-coding-system-alist
;  (cons '("grep" utf-8 . utf-8) process-coding-system-alist))
```

3.2. 日本語入力

Emacs23用にインラインパッチを適用している場合に使います。

Lion でも使える自分用にカスタマイズした inline-patch を使っています。

Emacs24 用には、Mavericks 対応したパッチを使っています。

```
(and (>= emacs-major-version 24) (<= emacs-minor-version 1)))
(when (and (eq window-system 'ns) (>= emacs-major-version 24))
    (setq default-input-method "MacOSX")
    (mac-add-key-passed-to-system 'shift))
```

3.3. 検索

本文中のバッファがあるディレクトリを grep 検索します。 M-x ag でさくっと検索できます。ag.el もありますが、まだ試していません。

```
(defun ag ()
    (interactive)
    (let ((grep-find-command "ag --nogroup "))
        (call-interactively 'grep-find)))

(when (eval-after-autoload-if-found
        '(ag) "ag" nil t nil
        '((setq ag-highlight-search t)
            (setq ag-reuse-buffers t) ;; nil=別ウインドウが開く
            (setq ag-reuse-window t) ;; nil=結果を選択時に別ウインドウに結果を出す
            (define-key ag-mode-map (kbd "q") 'delete-window)))

(defun my:ag ()
        (interactive)
        (call-interactively 'ag)
        (switch-to-buffer-other-frame "*ag search*"))
        (global-set-key (kbd "C-M-f") 'my:ag))
```

検索には The Silver Searcher を使うので、あらかじめインストールしておく必要があります。MacPorts の場合、the_silver_searcher の名称で頒布されています。 exec-path に /opt/local/bin が含まれていることを確認してください。

```
the_silver_searcher @0.18.1 (textproc)
A code-searching tool similar to ack, but faster.
```

3.4. 基本キーバインド

次の機能にキーバインドを設定する。

- Cmd+V でペースト (Mac 用)
- Cmd と Option を逆にする (Mac 用)
- 削除

```
(when (eq window-system 'ns)
  (global-set-key (kbd "M-v") 'yank)
  (setq ns-command-modifier 'meta)
  (setq ns-alternate-modifier 'super)
  (global-set-key [ns-drag-file] 'ns-find-file); D&D for Emacs23
```

```
(setq ns-pop-up-frames nil)) ; D&D for Emacs23
(global-set-key [delete] 'delete-char)
(global-set-key [kp-delete] 'delete-char)
```

3.5. ナローイングするか

ナローイングを有効にする。デフォルトは、ナローイングを知らないユーザが「データが 消えた!」と勘違いしないように、無効になっている。

Org でナローイングを使う場合は、特に設定しなくてもよい。

```
(put 'narrow-to-region 'disabled nil)
```

3.6. バッファの終わりでの newline を禁止する

```
;; Avoid adding a new line at the end of buffer (setq next-line-add-newlines nil)
```

3.7. 常に最終行に一行追加する

```
;; Limit the final word to a line break code (automatically correct) (setq require-final-newline t)
```

3.8. 長い文章を右端で常に折り返す

```
(setq truncate-lines nil)
(setq truncate-partial-width-windows nil)
```

3.9. バッファが外部から編集された場合に自動で再読み込みする

auto-save-buffers を使っていれば、バッファは常に保存された状態になるため、 revert されてもわかりやすい。

```
(global-auto-revert-mode 1)
```

3.10. 同じバッファ名が開かれた場合に区別する

```
(when (require 'uniquify nil t)
  (setq uniquify-buffer-name-style 'post-forward-angle-brackets))
```

3.11. マウスで選択した領域を自動コピー

マウスで選択すると、勝手にペーストボードにデータが流れます。

```
(setq mouse-drag-copy-region t)
```

4. カーソル移動

カーソルの移動は、次のポリシーに従っています。デフォルトでは C-v/M-v で上下移動

になっているが、M-v は windows のペーストに対応するので混乱を招くので使っていません。ページスクロールは標準の cua-base el に記載されています。

行移動	C-n/C-p
ページ移動(スクロール)	M-n/M-p
ウィンドウ移動	C-M-n/C-M-p
バッファ切り替え	M-]/M-[

4.1. バッファ内のカーソル移動

先頭に移動、最終行に移動、ページ単位の進む、ページ単位の戻る、行数を指定して移動

```
(global-set-key (kbd "C-M-t") 'beginning-of-buffer)
(global-set-key (kbd "C-M-b") 'end-of-buffer)
;; Backward page scrolling instead of M-v
(global-set-key (kbd "M-p") 'scroll-down)
;; Frontward page scrolling instead of C-v
(global-set-key (kbd "M-n") 'scroll-up)
;; Move cursor to a specific line
(global-set-key (kbd "C-c g") 'goto-line)
```

4.2. バッファ間のカーソル移動

C-c o の代わりに、ウィンドウの移動をワンアクションで行う。

```
(global-set-key (kbd "C-M-p") '(lambda () (interactive) (other-window -1))) (global-set-key (kbd "C-M-n") '(lambda () (interactive) (other-window 1)))
```

4.3. スクロールを制御

一行づつスクロールさせます。デフォルトではバッファの端でスクロールすると、半画面移動します。また、上下の端にカーソルがどのくらい近づいたらスクロールとみなすかも指定できます。

http://marigold.sakura.ne.jp/devel/emacs/scroll/index.html

非 ASCII 文字を扱っているときに一行づつスクロールしない場合は、scroll-conservatively の値を 1 ではなく大きい数字にすると直るかもしれません。

http://www.emacswiki.org/emacs/SmoothScrolling

scroll-margin を指定すると、カーソルがウィンドウの端から離れた状態でスクロールされます。

```
;; Scroll window on a line-by-line basis
(setq scroll-conservatively 1000)
(setq scroll-step 1)
(setq scroll-margin 0) ; default=0
```

スクロール時のジャンプが気になる場合は次のパッケージを使うとよいです。

http://adamspiers.org/computing/elisp/smooth-scrolling.el

4.4. スクロールで表示を重複させる行数

```
;; Scroll window on a page-by-pabe basis with N line overlapping (setq next-screen-context-lines 1)
```

4.5. [SmoothScroll.el] カーソル固定でスクロールする

https://raw.github.com/takaxp/EmacsScripts/master/SmoothScroll.el https://github.com/pglotov/EmacsScripts/blob/master/SmoothScroll.el

カーソル位置と行を固定してバッファを背景スクロールできます。

オリジナルのままだとコンパイル時に警告がでるので、 line-move-visual で書き換えて使っています。

```
(eval-after-autoload-if-found
  '(scroll-one-up scroll-one-down) "smoothscroll" nil t)
  (autoload-if-found
  '(scroll-one-up scroll-one-down) "smoothscroll" nil t)
```

4.5.1. キーバインド

```
(global-set-key (kbd "s-<up>") 'scroll-one-down)
(global-set-key (kbd "s-<down>") 'scroll-one-up)
```

4.6. [point-undo.el] カーソル位置を簡単にたどる

autoload や autoload-if-found で定義すると、使いたい時に履歴が取れていないのでよろしくないです。

```
(require 'point-undo nil t)
```

4.6.1. キーバインド

シングルキーを割り当てておくと使いやすいです。

```
;; [point-undo.el] Move the cursor to the previous position (global-set-key (kbd "<f7>") 'point-undo);; [point-undo.el] Redo of point-undo (global-set-key (kbd "S-<f7>") 'point-redo)
```

4.7. [cycle-buffer.el] カレントバッファの表示切り替え

http://www.emacswiki.org/emacs/download/cycle-buffer.el

Cycle-buffer を使うと、バッファの履歴をスライドショーのようにたどれます。ミニバッファに前後の履歴が表示されるので、何回キーを押せばいいかの目安になります。それを超える場合には、おとなしくバッファリストを使います。直近数件のバッファをたどるのに便利です。

```
(eval-after-autoload-if-found
'(cycle-buffer cycle-buffer-backward) "cycle-buffer" nil t nil
'((setq cycle-buffer-allow-visible t)
  (setq cycle-buffer-show-length 12)
  (setq cycle-buffer-show-format '(" <(%s)>" . " %s"))))
```

4.7.1. キーバインド

```
(global-set-key (kbd "M-]") 'cycle-buffer) (global-set-key (kbd "M-[") 'cycle-buffer-backward)
```

4.8. [bm.el] カーソル位置をブックマークして追う

bm.el は、カーソル位置をブックマークしておくためのツールです。 point-undo と比較して、ユーザが明示的に位置を保存でき、見た目にも使いやすいです。以下の例では、org-mode のツリー内にブックマークがある時にも、上手い具合に表示ができるように調整してあります。カーソル移動は、順方向(bm-next)にだけ使っています。

5. 編集サポート

5.1. 矩形編集/連番入力

Built-in の cua-base.el (CUA-mode) を使う。

```
(cua-mode t)
(setq cua-enable-cua-keys nil)
```

矩形選択した後に、 M-n を押すと、連番をふれる。開始値、増加値を入力してから、 hoge%03d.pgm などとすれば、hoge001、hoge002、、、と入力される。これと、 org-mode の表機能(C-c \parallel で選択部分を簡単に表にできる)を組み合わせれば、連番 で数値をふったテーブルを容易に作れる。

なお、標準の rect.el に以下の機能が実装されている。

矩形切り取り	C-x r k
矩形削除	C-x r d
矩形貼り付け	C-x r y
矩形先頭に文字を挿入	C-x r t
矩形を空白に変換する	C-x r c

5.2. Yank 時に装飾を取る

(setq yank-excluded-properties t)

5.3. ファイル保存時に時間を記録する

Built-in の time-stamp.el を使う。

バッファの保存時にタイムスタンプを記録する。以下の設定では、バッファの先頭から 10 行以内に、"Last Update: " があると、"Last Update: 2011-12-31@12:00"のようにタイムスタンプが記録される。

```
(when (require 'update-stamp nil t)
 (add-hook 'before-save-hook 'update-stamp)
 (setq update-stamp-start "UPDATE:[ \t]*")
 (setq update-stamp-format "%02H:%02M:%02S")
 (setq update-stamp-end "$")
 (setq update-stamp-line-limit 10))
(when (require 'time-stamp nil t)
 (add-hook 'before-save-hook 'time-stamp)
 (setq time-stamp-start "DATE:[ \t]*")
 (setq time-stamp-format "%04y-%02m-%02d")
 (setq time-stamp-end "$")
         (setq time-stamp-count 5)
 (setq time-stamp-line-limit 10)); def=8
(add-hook 'before-save-hook 'time-stamp)
(eval-after-load "time-stamp"
 '(progn
   (setq time-stamp-start "Last Update: ")
    (setg time-stamp-format "%04y-%02m-%02d0%02H:%02M")
    (setq time-stamp-end "$")
    (setq time-stamp-line-limit 10))); def=8
```

5.4. 選択リージョンを使って検索

検索語をミニバッファに入力するのが面倒なので、リージョンをそのまま検索語として利用します。

http://dev.ariel-networks.com/articles/emacs/part5/

5.5. ChangeLog モード

5.6. テキストモード

http://d.hatena.ne.jp/NeoCat/20080211

とは言っても、Org-mode を知ってから、txt もテキストモードで開かなくなったので、 ほぼ無意味な設定となりました。

5.7. C/C++モード

5.8. Info モード

Org-mode の日本語翻訳済み info を読むための設定。<u>翻訳プロジェクト</u>で頒布しています。

5.9. スペルチェック

Built-in の ispell を使う。チェックエンジンは、aspell を利用する。

'ns	sudo port install aspell aspell-dict-en
'x32	installer.exe and aspell-en from

http://aspell.net/win32/

```
;;; Use aspell for spell checking instead of ispell.
(when (executable-find "aspell")
 (eval-after-autoload-if-found
  '(ispell-region) "ispell" nil t nil
  '((setq-default ispell-program-name "aspell")
      (when (eq window-system 'w32)
        (setq-default ispell-program-name
                              "C:/Program Files/Aspell/bin/aspell.exe"))
      ;;(setq ispell-grep-command "grep")
      ;; for English and Japanese mixed
      (add-to-list 'ispell-skip-region-alist '("[^\000-\377]"))
      (setq ispell-dictionarry "english")
      (setq ispell-personal-dictionary
              (concat default-private-path ".aspell.en.pws"))
      ;; This will also avoid an IM-OFF issue for flyspell-mode.
      ;; (setq ispell-aspell-supports-utf8 t)
      ;; (setq ispell-encoding8-command t)
      (setq ispell-local-dictionary-alist
              '((nil "[a-zA-Z]" "[^a-zA-Z]" "'" t
                         ("-d" "en" "--encoding=utf-8") nil utf-8))))))
```

5.9.1. キーバインド

```
;; Spell checking within a specified region (global-set-key (kbd "C-c 0") 'ispell-region)
```

5.10. リアルタイムスペルチェック

Built-in の <u>flyspell.el</u> を使います。

重いので現在は使っていません。

http://www.morishima.net/~naoto/fragments/archives/2005/12/20/flyspell/

5.11. [latex-math-preview.el] TeX 数式をプレビュー

http://www.emacswiki.org/emacs/latex-math-preview.el

http://transitive.info/software/latex-math-preview/

```
(autoload 'latex-math-preview "latex-math-preview" nil t)
```

5.12. [po-mode.el] 翻訳ファイルの編集

http://www.emacswiki.org/emacs/PoMode

http://www.emacswiki.org/emacs/po-mode+.el

5.13. [word-count.el] リージョン内の文字をカウントする

有効な頒布元に変更があった。word-count.el から新しい頒布元にたどりつける。

```
(eval-after-autoload-if-found
'(word-count-mode) "word-count" "Minor mode to count words." t)
```

5.13.1. キーバインド

```
(global-set-key (kbd "M-+") 'word-count-mode)
```

5.14. [yatex.el] YaTeX モード

```
(when (autoload-if-found 'yatex-mode "yatex" "Yet Another LaTeX mode" t)
 (setq auto-mode-alist
      (cons (cons "\\.tex$" 'yatex-mode) auto-mode-alist))
 ;; Disable auto line break
 (add-hook 'yatex-mode-hook
         '(lambda ()
            (setq auto-fill-function nil)))
 (eval-after-load "yatex"
   '(progn
     ;; 1=Shift JIS, 2=JIS, 3=EUC, 4=UTF-8
     (setq YaTeX-kanji-code 4))))
(when (eval-after-autoload-if-found
        '(yatex-mode) "yatex" "Yet Another LaTeX mode" t nil
        '((setq YaTeX-kanji-code 4))) ;; 1=Shift JIS, 2=JIS, 3=EUC, 4=UTF-8
 (setq auto-mode-alist
           (cons (cons "\\.tex$" 'yatex-mode) auto-mode-alist))
 ;; Disable auto line break
 (add-hook 'yatex-mode-hook
                 '(lambda ()
                    (setq auto-fill-function nil))))
```

5.15. [wclock.el] 世界時計

http://pastelwill.jp/wiki/doku.php?id=emacs

5.16. [yasnippet.el] Emacs 用のテンプレートシステム

https://github.com/capitaomorte/yasnippet

- http://yasnippet-doc-jp.googlecode.com/svn/trunk/doc-jp/index.html
- http://d.hatena.ne.jp/IMAKADO/20080401/1206715770
- http://coderepos.org/share/browser/config/yasnippet
- https://github.com/RickMoynihan/yasnippet-org-mode

Org-mode との衝突を避ける

```
(eval-after-autoload-if-found
  '(yas-global-mode yas-minor-mode)
  "yasnippet" nil t nil
  '((setq yas-verbosity 2)
    (setq yas-snippet-dirs
         (list "~/Dropbox/emacs.d/yas-dict"
               'yas-installed-snippets-dir)) ;; for Cask
    (custom-set-variables '(yas-trigger-key [tab]))
    (yas-global-mode 1)
    ))
 (dolist (hook (list 'perl-mode-hook 'c-mode-common-hook 'org-mode-hook))
   (add-hook hook 'yas-minor-mode))
   (add-hook 'org-mode-hook
;;
              (let ((original-command (lookup-key org-mode-map [tab])))
;;
;;
                 `(lambda ()
;;
                   (setq yas-fallback-behavior
;;
                          '(apply ,original-command))
                   (local-set-key [tab] 'yas-expand))))
;;
(eval-after-autoload-if-found
 '(yas-minir-mode yas-expand) "yasnippet" nil t nil
 '((setq yas-verbosity 2)
  (setq yas-snippet-dirs
        (list "~/Dropbox/emacs.d/yas-dict"
             'yas-installed-snippets-dir))
  (custom-set-variables '(yas-trigger-key [tab]))
  (yas-global-mode 1)))
(dolist (hook (list 'perl-mode-hook 'c-mode-common-hook))
                           'emacs-lisp-mode-hook))
 (add-hook hook 'yas-minor-mode))
(defun yas-org-very-safe-expand ()
 (let ((yas-fallback-behavior 'return-nil)) (yas-expand)))
(add-hook 'org-mode-hook
        '(lambda ()
           (yas-minor-mode)
```

```
;; org-cycle (<TAB>) との衝突を避ける
(setq yas-trigger-symbol [tab])
(add-to-list 'org-tab-first-hook 'yas-org-very-safe-expand)
(define-key yas-keymap [tab] 'yas-next-field)))
```

5.17. [sdic.el] 英辞郎で英単語を調べる

http://www.namazu.org/~tsuchiya/sdic/index.html

Emacs から辞書を使う。lookup を使う方法もあるが、Emacs から使うのは英辞郎に限定。

```
(when (autoload-if-found
     '(sdic-describe-word sdic-describe-word-at-point)
     "sdic" nil t)
 (eval-after-load "sdic"
   '(progn
     (setq sdic-face-color "#3333FF")
     (setq sdic-default-coding-system 'utf-8)
     ;; Dictionary (English => Japanese)
     (setq sdic-eiwa-dictionary-list
           '((sdicf-client "~/Dropbox/Dic/EIJIR06/EIJI-128.sdic")))
     ;; Dictionary (Japanese => English)
     (setq sdic-waei-dictionary-list
           '((sdicf-client "~/Dropbox/Dic/EIJIRO6/WAEI-128.sdic"))))))
(eval-after-autoload-if-found
'(sdic-describe-word sdic-describe-word-at-point) "sdic" nil t nil
'((setq sdic-face-color "#3333FF")
  (setq sdic-default-coding-system 'utf-8)
  ;; Dictionary (English => Japanese)
  (setq sdic-eiwa-dictionary-list
            '((sdicf-client "~/Dropbox/Dic/EIJIR06/EIJI-128.sdic")))
 ;; Dictionary (Japanese => English)
  (setg sdic-waei-dictionary-list
            '((sdicf-client "~/Dropbox/Dic/EIJIRO6/WAEI-128.sdic")))))
```

5.17.1. キーバインド

```
;; カーソルの位置の英単語の意味を調べる
(global-set-key (kbd "C-M-w") 'sdic-describe-word-at-point)
;; ミニバッファに英単語を入れて英辞郎を使う
(global-set-key (kbd "C-c w") 'sdic-describe-word)
```

5.18. MacOS の dictionary.app で COBUILD5 の辞書をひく

OS 標準の辞書アプリ(dictionary.app)を経由して、バッファに COBUILD5 のデータを流し込むことができます。

• 辞書(Dictionary).app を使い倒そう

以下の関数を準備します。

```
(defun dictionary ()
```

```
"dictionary.app"
(interactive)
(let ((editable (not buffer-read-only))
     (pt (save-excursion (mouse-set-point last-nonmenu-event)))
    beg end)
 (if (and mark-active
         (<= (region-beginning) pt) (<= pt (region-end)) )</pre>
     (setq beg (region-beginning)
         end (region-end))
   (save-excursion
     (goto-char pt)
     (setq end (progn (forward-word) (point)))
     (setq beg (progn (backward-word) (point)))
 (let ((word (buffer-substring-no-properties beg end))
                     (win (selected-window))
       (tmpbuf " * dict-process*"))
   (pop-to-buffer tmpbuf)
   (erase-buffer)
   (insert "Query: " word "\n\n")
   (start-process "dict-process" tmpbuf "dict.py" word)
   (goto-char 0)
             (select-window win)
   ;;
   ))))
```

これでカーソル以下の単語の情報が別ウィンドウに出ます。チェックし終わったら C-x1 (delete-other-windows) で表示を閉じます。 q で閉じられるようにしたり、ツールチップで表示したりもできるはずです。

マスタカさんのナイスソリューションをまだ試していないので、こちらの方がエレガントかもしれません。

- Emacs で Mac の辞書を sdic っぽく使う
- Emacs から Mac の辞書をお手軽に使う

なお、COBUILD5 の辞書データを dictionary.app で引けるようにするには以下の操作が必要です。

• Collins COBULD 5 を Dictionary.app で利用できるようにする

私の場合は、できあがった辞書を /Library/Dictionaries/ 以下に置いています。その状態で dictionary.app の設定で辞書の優先順位を変えることで、常に COBUILD5 の情報を引っ張り出せます。

5.18.1. マイナーモード化

q で閉じたくなったのでマイナーモードを作りました。これまで通り、 C-M-w でカーソ

ル下の単語を調べてポップアップで表示。カーソルはその新しいバッファに移しておき、 q で閉じられます。新しいバッファ内で別な単語を C-M-w で調べると、同じバッファに 結果を再描画します。

マイナーモード化した elisp は、gist で公開しています。

5.18.2. キーバインド

マイナーモード化した dict-app を使う場合は以下のようにします。そうでない場合は、dictionary を直接呼ぶことでも動作します。sdic を使っている人は、sdic 用の設定と衝突しないように気をつけます。

```
(when (eval-after-autoload-if-found
'(dict-app-search dictionary) "dict-app" nil t nil
'())
;; カーソルの位置の英単語の意味を調べる
(global-set-key (kbd "C-M-w") 'dict-app-search))
```

5.19. [lookup.el] 辞書

最近使っていません。

```
;; .lookup/cache.el
(setq lookup-init-directory "~/env/dot files/.lookup")
(autoload 'lookup "lookup" nil t)
(autoload 'lookup-region "lookup" nil t)
(autoload 'lookup-word "lookup" nil t)
(autoload 'lookup-select-dictionaries "lookup" nil t)
(setq lookup-search-modules
       '(("default"
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/COBUILD5/cobuild" :priority t)
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/COBUILD5/wordbank" :priority t)
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/ldoce4" :priority t)
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/bank" :priority t)
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/colloc" :priority t)
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/activ" :priority t))))
(setg lookup-agent-attributes
       '(("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/COBUILD5"
            (dictionaries "cobuild" "wordbank"))
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4"
            (dictionaries "ldoce4" "bank" "colloc" "activ"))))
(setq lookup-dictionary-attributes
       '(("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/COBUILD5/cobuild"
            (title . "COBUILD 5th Edition")
            (methods exact prefix))
           ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/COBUILD5/wordbank"
            (title . "Wordbank")
            (methods))
           ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/ldoce4"
            (title . "Longman 4th Edition")
```

```
(methods exact prefix))
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/bank"
             (title . "LDOCE4 Examples and Phrases")
             (methods exact prefix menu))
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/colloc"
             (title . "LDOCE4 Collocation")
             (methods exact prefix))
            ("ndeb:/Users/taka/Dropbox/Dic/LDOCE4/activ"
             (title . "Longman Activator")
             (methods exact prefix menu))))
(setq lookup-default-dictionary-options
        '((:stemmer . stem-english)))
(setq lookup-use-kakasi nil)
;;; lookup for dictionary (require EB Library, eblook, and lookup.el)
;; package download: http://sourceforge.net/projects/lookup
;; http://lookup.sourceforge.net/docs/ja/index.shtml#Top
;; http://www.bookshelf.jp/texi/lookup/lookup-guide.html#SEC Top
                                                            ; (load "lookup-
autoloads") ; for 1.99
                                                            ; (autoload 'lookup
"lookup" nil t)
                                                            ; (autoload 'lookup-
region "lookup" nil t)
                                                            ; (autoload 'lookup-
word "lookup" nil t)
                                                            ; (autoload 'lookup-
select-dictionaries "lookup" nil t)
;; Search Agents
;; ndeb option requries "eblook" command
                                                            ; Use expand-file-
name!
                                                            ; (setq lookup-
search-agents `((ndeb ,(concat homedir "/Dropbox/Dic/COBUILD5"))
(ndeb ,(concat homedir "/Dropbox/Dic/LDOCE4"))))
                                                            ; (setq lookup-use-
bitmap nil)
                                                            ; (setq ndeb-program-
name "/usr/bin/eblook")
                                                            ; (when (eq window-
system 'ns)
                                                              (setq ndeb-
program-name "/opt/local/bin/eblook")
                                                               (setq ndeb-
program-arguments '("-q" "-e" "euc-jp"))
                                                            ; (setq ndeb-
process-coding-system 'utf-8)); utf-8-hfs
```

5.19.1. キーバインド

```
(global-set-key (kbd "<f6>") 'lookup-word)
```

5.20. [cacoo] Cacoo で描く

画像をリサイズしてバッファに表示する用途にも使える。

```
(when (autoload-if-found 'toggle-cacoo-minor-mode "cacoo" nil t)
```

5.21. [iedit] バッファ内の同じ文字列を一度に編集する

iedit.el を使うと、バッファ内の同じ文字列を一度に編集することができる。部分重複のない変数名を置き換えるときに有用な場合がある。

```
(require 'iedit nil t)
```

5.22. [web-mode] HTML 編集

HTML編集をするなら web-mode がお勧めです。古いHTMLモードを使っている方は、移行時期です。以下の my-web-indent-fold では、 タブキーを打つたびにタグでくくられた領域を展開/非表示して整形します。Org-mode っぽい動作になりますが、操作の度にバッファに変更が加わったと判断されるので好みが分かれると思います。自動保存を有効にしているとそれほど気になりません。

```
(when (eval-after-autoload-if-found
         '(web-mode) "web-mode" "web-mode" t nil
         '((defun my-web-indent-fold ()
               (interactive)
               (web-mode-fold-or-unfold)
               (web-mode-buffer-indent)
               (indent-for-tab-command))
            ;; 色の設定
             (custom-set-faces
             ;; custom-set-faces was added by Custom.
             ;; If you edit it by hand, you could mess it up, so be careful.
             ;; Your init file should contain only one such instance.
             ;; If there is more than one, they won't work right.
              '(default ((t (:background "#FFFFFFF" :foreground "#202020"))))
              '(web-mode-comment-face ((t (:foreground "#D9333F"))))
              '(web-mode-css-at-rule-face ((t (:foreground "#FF7F00"))))
              '(web-mode-css-pseudo-class-face ((t (:foreground "#FF7F00"))))
              '(web-mode-css-rule-face ((t (:foreground "#A0D8EF"))))
              '(web-mode-doctype-face ((t (:foreground "#82AE46"))))
              '(web-mode-html-attr-name-face ((t (:foreground "#C97586"))))
              '(web-mode-html-attr-value-face ((t (:foreground "#82AE46"))))
              '(web-mode-html-tag-face ((t (:foreground "##4682ae" :weight
bold))))
             '(web-mode-server-comment-face ((t (:foreground "#D9333F")))))
             (define-key web-mode-map (kbd "<tab>") 'my-web-indent-fold)))
 ;; web-mode で開くファイルの拡張子を指定
```

5.23. [zencoding-mode] HTML 編集の高速化

zencoding でタグ打ちを効率化します。

http://www.emacswiki.org/emacs/ZenCoding

```
(add-hook 'sgml-mode-hook 'zencoding-mode)
(add-hook 'html-mode-hook 'zencoding-mode)
(add-hook 'web-mode-hook 'zencoding-mode)
(eval-after-autoload-if-found
 '(zencoding-mode zencoding-expand-line) "zencoding-mode" "Zen-coding" t nil
 '((define-key zencoding-mode-keymap (kbd "M-<return>") 'zencoding-expand-line)))
```

6. 表示サポート

6.1. モードラインのモード名を短くする

自作した mode-name-abbrev.el を使っています。不具合も多いので非公開 ;-)

```
(require 'mode-name-abbrev nil t)
```

6.2. モードラインの Narrow を短くする

標準では「Narrow」と表示されますが、「N」に短縮します。

6.3. モードラインの色をカスタマイズする

```
(set-face-attribute 'mode-line nil :overline "#203e6f" :box nil)
(set-face-foreground 'mode-line "#203e6f")
(set-face-background 'mode-line "#b2cefb")
(set-face-attribute 'mode-line-inactive nil :overline "#94bbf9" :box nil)
```

```
(set-face-foreground 'mode-line-inactive "#94bbf9")
(set-face-background 'mode-line-inactive "#d8e6fd")
```

6.3.1. 色セット例

• 青/白

	background	foreground	overline
active	558BE2	FFFFFF	566f99
inactive	94bbf9	EFEFEF	a4bfea
• 青			
	background	foreground	overline
active	b2cefb	203e6f	203e6f
inactive	94bbf9	94bbf9	94bbf9
• 緑			
	background	foreground	overline
active	b1fbd6	206f47	206f47
inactive	95f9c7	95f9c7	95f9c7

6.4. visible-bell のカスタマイズ

http://www.emacswiki.org/emacs/MilesBader を参考にカスタマイズしている。

visibl-bell を使うと、操作ミスで発生するビープ音を、視覚的な表示に入れ替えられる。 しかし、デフォルトではバッファ中央に黒い四角が表示されて少々鬱陶しいので、ミニ バッファの点滅に変更する

6.5. 常に scratch を表示して起動する

session.el や desktop.el を使っていても、いつも *scratch* バッファを表示する。そうじゃないと安心できない人向け。

;; Start Emacs with scratch buffer even though it call session.el/desktop.el (add-hook 'emacs-startup-hook '(lambda () (switch-to-buffer "*scratch*")))

6.6. バッテリー情報をモードラインに表示する

;; Show battery information on the mode line. (display-battery-mode t)

6.7. スクロールバーを非表示にする

スクロールバーを非表示にするには、nil を指定します。

右側に表示したい場合は、'right とします。

```
;; Show scroll bar or not (set-scroll-bar-mode nil) ; 'right
```

6.8. ツールバーを非表示にする

ツールバーは使わないので非表示にします。

```
;; Disable to show the tool bar. (tool-bar-mode 0)
```

6.9. 起動時のスプラッシュ画面を表示しない

```
;; Disable to show the splash window at startup (setq inhibit-startup-screen t)
```

6.10. カーソル行の行数をモードラインに表示する

```
;; Show line number in the mode line.
(line-number-mode t)
```

6.11. カーソル行の関数名をモードラインに表示する

emacs24.3 で重く感じるので外している。

```
;; Show function name in the mode line. (which-function-mode t)
```

6.12. 時刻をモードラインに表示する

```
;; Show clock in in the mode line (display-time-mode t)
```

6.13. 対応するカッコをハイライトする

Built-in の paren.el が利用できる。拡張版として <u>mic-paren.el</u> があり、現在はこれを利用している。

paren.el の場合は以下の設定。

```
(setq show-paren-delay 0)
(show-paren-mode t)
;; (setq show-paren-style 'expression); カッコ内も強調
;(set-face-background 'show-paren-match-face "#5DA4ff"); カーソルより濃い青
(set-face-background 'show-paren-match-face "#a634ff")
(set-face-foreground 'show-paren-match-face "#FFFFFF")
(set-face-underline-p 'show-paren-match-face nil)
(setq show-paren-style 'parenthesis)
```

6.14. 全角スペースと行末タブ/半角スペースを強調表示する

http://ubulog.blogspot.jp/2007/09/emacs_09.html

英語で原稿を書く時に全角スペースが入っているを苦労するので、強調表示して編集中でも気づくようにします。また、行末のタブや半角スペースも無駄なので、入り込まないように強調しています。

```
(defface my-face-b-1 '((t (:background "gray" :bold t :underline "red"))) nil
:group 'font-lock-highlighting-faces)
 ;; タブだけの行
 (defface my-face-b-2 '((t (:background "orange" :bold t :underline "red")))
nil :group 'font-lock-highlighting-faces)
 ;; 半角スペース
 (defface my-face-b-3 '((t (:background "orange"))) nil :group 'font-lock-
highlighting-faces)
 (defvar my-face-b-1 'my-face-b-1)
 (defvar my-face-b-2 'my-face-b-2)
 (defvar my-face-b-3 'my-face-b-3)
 (defadvice font-lock-mode (before my-font-lock-mode ())
     (font-lock-add-keywords
      major-mode
      ;; "[\t]+$" 行末のタブ
      '((" " 0 my-face-b-1 append)
         ("[ ]+$" 0 my-face-b-3 append)
         ("[\t]+$" 0 my-face-b-2 append))))
 (ad-enable-advice 'font-lock-mode 'before 'my-font-lock-mode)
 (ad-activate 'font-lock-mode)
```

6.15. [migemo.el] ローマ字入力で日本語を検索する

http://0xcc.net/migemo/#download

以下は、cmigemo を使う設定です。

```
(when (and (autoload-if-found 'migemo-init "migemo" nil t)
         (executable-find "cmigemo"))
 (add-hook 'isearch-mode-hook 'migemo-init)
 (eval-after-load "migemo"
   '(progn
     (setq completion-ignore-case t) ;; case-independent
      (setq migemo-command "cmigemo")
      (setq migemo-options '("-q" "--emacs" "-i" "\a"))
      (setq migemo-dictionary "/usr/local/share/migemo/utf-8/migemo-dict")
      (setq migemo-user-dictionary nil)
      (setq migemo-regex-dictionary nil)
      (setq migemo-use-pattern-alist t)
      (setq migemo-use-frequent-pattern-alist t)
      (setq migemo-pattern-alist-length 1024)
      (setq migemo-coding-system 'utf-8-unix))))
(when
     (eval-after-autoload-if-found
      '(migemo-init) "migemo" nil t nil
      '((setg completion-ignore-case t) ;; case-independent
        (setq migemo-command "cmigemo")
        (setq migemo-options '("-q" "--emacs" "-i" "\a"))
        (setq migemo-dictionary "/usr/local/share/migemo/utf-8/migemo-dict")
        (setq migemo-user-dictionary nil)
        (setq migemo-regex-dictionary nil)
        (setq migemo-use-pattern-alist t)
        (setq migemo-use-frequent-pattern-alist t)
        (setq migemo-pattern-alist-length 1024)
        (setq migemo-coding-system 'utf-8-unix)))
 (when (executable-find "cmigemo")
     (add-hook 'isearch-mode-hook 'migemo-init)))
```

6.16. [anything.el] 何でも絞り込みインターフェイス

http://svn.coderepos.org/share/lang/elisp/anything-c-moccur/trunk/anything-c-moccur.el

http://d.hatena.ne.jp/IMAKADO/20080724/1216882563

```
(when (require 'migemo nil t)
              (setq moccur-use-migemo t))
            ;; M-x anything-grep-by-name
            (setq anything-grep-alist
                    '(("Org-files" ("egrep -Hin %s *.org" "~/Dropbox/org/"))
                        (".emacs.d" ("egrep -Hin %s *.el" "~/.emacs.d/"))
                        ("ChangeLog" ("egrep -Hin %s ChangeLog" "~/"))))))
 ;; ("Spotlight" ("mdfind %s -onlyin ~/Dropbox/Documents/Library/" ""))))
 (defun my-anything ()
     (interactive)
     (anything-other-buffer
      '(anything-c-source-recentf
        anything-c-source-file-name-history
        anything-c-source-buffers
        anything-c-source-emacs-commands
        anything-c-source-locate)
      " *my-anything*"))
 (defun my-anything-buffer ()
     (interactive)
     (anything-other-buffer
      '(anything-c-source-buffers)
      " *my-anthing-buffer*"))
 (when (eq window-system 'ns)
     (defun my-anything-spotlight ()
       "Spotlight search with anything.el"
       (interactive)
       (anything-other-buffer
        '(anything-c-source-mac-spotlight)
        " *anything-spotlight*")))
 (setq anything-candidate-number-limit 50); 50
 (setq anything-input-idle-delay 0.1) ; 0.1
 (setq anything-idle-delay 0.5)
                                           ; 0.5
 (setq anything-quick-update nil))
                                          ; nil
(when (autoload-if-found
     '(anything-other-buffer anything-complete
      anything-M-x anything-c-moccur-occur-by-moccur)
     "anything-startup" nil t)
 (defun my-anything ()
   (interactive)
   (anything-other-buffer
   '(anything-c-source-recentf
     anything-c-source-file-name-history
     anything-c-source-buffers
     anything-c-source-emacs-commands
     anything-c-source-locate)
   " *my-anything*"))
 (defun my-anything-buffer ()
   (interactive)
   (anything-other-buffer
   '(anything-c-source-buffers)
   " *my-anthing-buffer*"))
 (when (eq window-system 'ns)
```

```
(defun my-anything-spotlight ()
   "Spotlight search with anything.el"
   (interactive)
   (anything-other-buffer
    '(anything-c-source-mac-spotlight)
    " *anything-spotlight*")))
(eval-after-load "anything-startup"
 '(progn
    (require 'anything-c-moccur nil t)
    ;; (setq moccur-split-word t)
    ;; (setq anything-c-locate-options `("locate" "-w"))
    ;; M-x install-elisp-from-emacswiki recentf-ext.el
    ;; http://www.emacswiki.org/cgi-bin/wiki/download/recentf-ext.el
    ;; (autoload-if-found 'recentf-ext "recentf-ext" nil t)
    (require 'recentf-ext nil t)
    (when (require 'migemo nil t)
     (setq moccur-use-migemo t))
    ;; M-x anything-grep-by-name
    (setq anything-grep-alist
         '(("Org-files" ("egrep -Hin %s *.org" "~/Dropbox/org/"))
          (".emacs.d" ("egrep -Hin %s *.el" "~/.emacs.d/"))
           ("ChangeLog" ("egrep -Hin %s ChangeLog" "~/"))))
    ;; ("Spotlight" ("mdfind %s -onlyin ~/Dropbox/Documents/Library/" ""))))
    (setq anything-candidate-number-limit 50); 50
    (setq anything-input-idle-delay 0.1) ; 0.1
    (setq anything-idle-delay 0.5)
    (setq anything-quick-update nil)))) ; nil
```

6.16.1. キーバインド

普通に anything-startup を呼んでいる場合には、anything-M-x を設定する必要はない。

6.17. [stripe-buffer.el] テーブルの色をストライプにする

<u>stripe-buffer.el</u>を使います。重くツリーが多い Org バッファだと激重になる可能性があります。

```
(eval-after-autoload-if-found
  'org-mode "org" "Org Mode" t nil
  '(
```

```
(require 'org-install)
  (require 'stripe-buffer nil t)
  (add-hook 'org-mode-hook 'turn-on-stripe-table-mode)))
```

7. メディアサポート

7.1. [bongo.el] Emacs のバッファで音楽ライブラリを管理する

iTunes の代わりに Emacs を使う

autoload を設定すると、 *.bango-playlist や *.bongo-library から起動できないので、明示的に require している。なお、bongo-mplayer を使う場合、bongo を先に require するとうまく動作しない(bongo.el の最後で、bongo-mplayer が provide されているからだと思われる)。

以下の設定では、autoload で使いつつ、=M-x init-bongo= でプレイリストを読み込んでいる。これならば、Emacs 起動時は軽量で、かつ、プレイリストの訪問で Bongo を 開始できる。

```
;; (require 'bongo)
 (when (autoload-if-found 'bongo "bongo-mplayer" nil t)
   (defun init-bongo ()
    (interactive)
    (bongo)
    (find-file "~/Desktop/next/Tidy/hoge.bongo-playlist"))
   (eval-after-load "bongo-mplayer"
    '(progn
       ;; Volume control
         (require volume.el nil t)
       (setg bongo-mplayer-extra-arguments '("-volume" "1"))
       ;; Avoid error when editing bongo buffers
       (setq yank-excluded-properties nil)
       ;; Use mplayer
       (setq bongo-enabled-backends '(mplayer)))))
(when (eval-after-autoload-if-found
        '(bongo) "bongo-mplayer" nil t nil
        '(;; Volume control
                      (require volume.el nil t)
            (setq bongo-mplayer-extra-arguments '("-volume" "1"))
            ;; Avoid error when editing bongo buffers
            (setq yank-excluded-properties nil)
            ;; Use mplayer
            (setq bongo-enabled-backends '(mplayer))))
 (defun init-bongo ()
     (interactive)
     (bongo)
     (find-file "~/Desktop/next/Tidy/hoge.bongo-playlist")))
```

org-player.el を使えば、org-mode のバッファから Bongo を操作できる。

```
(eval-after-autoload-if-found 'org-mode "org-player" nil t)
```

音量コントロールには、volume.el が必要です。設定がうまくいかないので保留中

```
(autoload 'volume "volume" "Tweak your sound card volume." t)
```

7.2. [GoogleMaps.el] GoogleMaps を Emacs 内で使う

http://julien.danjou.info/software/google-maps.el

M-x gogole-maps で起動します。

```
(require 'google-maps nil t)
(require 'org-location-google-maps nil t)
```

+/- でズーム、 矢印 で移動、 q で終了します。また、 w で URLを取得してコピー、 t で地図の種別を変更できます。

Org-mode を使っている場合には、 C-c M-L で表示されるプロンプトで検索すると、 プロパティにそのキーワードが記録されます。後から C-c M-l すれば、いつでも地図を 表示できるようになります。

7.3. [org-google-weather.el] org-agenda に天気を表示する

http://julien.danjou.info/software/google-weather.el

```
(require 'google-weather nil t)
(when (require 'org-google-weather nil t)
  '(org-google-weather-use-google-icons t))
```

8. 履歴/ファイル管理

8.1. Undo バッファを無限に取る

```
(setq undo-outer-limit nil)
```

8.2. バッファ保存時にバックアップファイルを生成する

バッファが保存されるとき、必ずバックアップを生成する。

8.3. ミニバッファの履歴を保存しリストアする

```
(savehist-mode 1)
```

8.4. 履歴サイズを大きくする

tで無限大に指定する。

```
(setq history-length 1000)
```

8.5. Emacs 終了時に開いていたバッファを起動時に復元する

Built-in の desktop.el を使う。

org バッファを CONTENT view で大量に開いていると、再起動が非常に遅くなるので利用を中止した。代替手段として、session.el と recentf の組み合わせがある。最近利用したファイルとそのカーソル位置が保持されるため、最後に訪問していたファイルを比較的簡単に復元できる。頻繁に復元するバッファには、別途キーバインドを割り当てておけば問題ない。

```
(when (autoload-if-found
    '(desktop-save desktop-clear desktop-load-default desktop-remove)
    "desktop" nil t)
  (desktop-save-mode 1)
  (setq desktop-files-not-to-save "\\(^/tmp\\|^/var\\|^/ssh:\\)"))

(eval-after-autoload-if-found
  '(desktop-save desktop-clear desktop-load-default desktop-remove)
  "desktop" nil t nil
  '((desktop-save-mode 1)
    (setq desktop-files-not-to-save "\\(^/tmp\\|^/var\\|^/ssh:\\)")))
```

8.6. 最近開いたファイルリストを保持

Built-in の recentf.el を使う。

http://d.hatena.ne.jp/tomoya/20110217/1297928222

session.el でも履歴管理できるが、anything のソースとして使っているので併用している。

起動直後から有効にするので、autolad-if-load で括る必要はない。

recentf-auto-cleanup を ='mode= にすると起動時にファイルのクリーニングが行われるてしまうので、='never= で回避し、アイドルタイマーで対応する。これだけで 50[ms]ほど起動を高速化できる。

8.7. 深夜にバッファを自動整理する

http://www.emacswiki.org/emacs-zh/CleanBufferList

8.8. [auto-save-buffers.el] 一定間隔でバッファを保存する

http://0xcc.net/misc/auto-save/

起動直後から有効にするので、autolad-if-load で括る必要はない。

8.9. [backup-dir.el] バックアップファイルを一箇所に集める

http://www.emacswiki.org/emacs/BackupDirectory

http://www.northbound-train.com/emacs-hosted/backup-dir.el

http://www.northbound-train.com/emacs.html

起動直後から有効にするので、autolad-if-load で括る必要はない。

8.10. [session.el] 様々な履歴を保存し復元に利用する

http://emacs-session.sourceforge.net/

- 入力履歴の保持(検索語、表示したバッファ履歴)
- 保存時のカーソル位置の保持
- キルリングの保持
- 変更が加えられたファイル履歴の保持

M-x session-save-session

session-undo-check を指定していると、保存時ではなくバッファを閉じるときの状態を保持する。

Org-mode と併用する場合は、my-org-reveal-session-jump の設定が必須。

```
(when (autoload-if-found 'session-initialize "session" nil t)
  (add-hook 'after-init-hook 'session-initialize)
  (eval-after-load "session"
   '(progn
      (add-to-list 'session-globals-exclude 'org-mark-ring)
      ;; Change save point of session.el
      (setq session-save-file (expand-file-name "~/Dropbox/.session"))
      (setg session-initialize '(de-saveplace session keys menus places)
           session-globals-include '((kill-ring 100)
                                 (session-file-alist 100 t)
                                 (file-name-history 200)
                                 search-ring regexp-search-ring))
      (setq session-undo-check -1))))
;; FIXME
;;
  (setq session-set-file-name-exclude-regexp
          "^/private/\\.\\*"))
;;
            "[/\\]\\.overview\\|[/\\]\\.session\\|News[/\\]\\|^/private\\.*\\|
^/var/folders\\.*"))
(when (eval-after-autoload-if-found
         'session-initialize "session" nil t nil
         '((add-to-list 'session-globals-exclude 'org-mark-ring)
            ;; Change save point of session.el
             (setq session-save-file (expand-file-name "~/Dropbox/.session"))
             (setq session-initialize '(de-saveplace session keys menus places)
                     session-globals-include '((kill-ring 100)
                                                             (session-file-alist
100 t)
                                                             (file-name-history
200)
                                                             search-ring regexp-
```

次はテスト中。org バッファを開いたらカーソル位置を org-reveal したいが、time-stamp などと組み合わせたり、org-tree-slide と組み合わせていると、うまくいかない。 バッファを表示した時に org-reveal (C-c C-r) を打つのをサボりたいだけなのだが。。。

http://www.emacswiki.org/emacs/EmacsSession

```
(when (autoload-if-found 'session-initialize "session" nil t)
 (add-hook 'after-init-hook 'session-initialize)
 (eval-after-load "session"
     '(progn
        ;; For Org-mode
        (defun my-maybe-reveal ()
            (interactive)
            (when (and (or (memq major-mode '(org-mode outline-mode))
                                   (and (boundp 'outline-minor-mominor-de)
                                           outline-minor-mode))
                              (outline-invisible-p))
               (if (eq major-mode 'org-mode)
                     (org-reveal)
                   (show-subtree))))
        (defun my-org-reveal-session-jump ()
            (message "call!")
            (when (and (eq major-mode 'org-mode)
                             (outline-invisible-p))
               (org-reveal)))
        ;; C-x C-/
        (add-hook 'session-after-jump-to-last-change-hook
                         'my-maybe-reveal))))
```

8.11. [wakatime-mode.el] WakaTime を利用して作業記録する

- 1. https://www.wakati.me/ (API 発行とログ GUI 表示)
- 2. https://github.com/wakatime/wakatime (ログ記録用スクリプト)
- 3. https://github.com/nyuhuhuu/wakatime-mode (Emacs 用プラグイン)

利用開始前に、ログ表示サイトでルールをカスタマイズしておくとよい。例えば、拡張子が .org なファイルの場合、言語設定を Text にする、という具合に。すると、グラフ表示がわかりやすくなる。

```
(when (require 'wakatime-mode nil t)
  (setq wakatime-api-key "<insert your own api key>")
  (setq wakatime-cli-path "/Users/taka/Dropbox/emacs.d/bin/wakatime-cli.py")
  ;; すべてのバッファで訪問時に記録を開始
  (global-wakatime-mode)
  )
```

9. 開発サポート

9.1. 便利キーバインド

```
(global-set-key (kbd "C-;") 'comment-dwim) ;; M-; is the defualt (global-set-key (kbd "C-c c") 'compile)
```

9.2. [gist.el] Gist インターフェイス

```
(eval-after-autoload-if-found '(gist) "gist" nil t)
```

9.3. [doxymacs.el] Doxygen のコメントを簡単に入力する

http://doxymacs.sourceforge.net/

```
(when (autoload-if-found 'doxymacs-mode "doxymacs" nil t)
 (add-hook 'c-mode-common-hook 'doxymacs-mode)
 (eval-after-load "doxymacs"
   '(progn
      (setq doxymacs-doxygen-style "JavaDoc")
      (add-hook 'font-lock-mode-hook
              '(lambda () (interactive)
                 (when (or (eq major-mode 'c-mode) (eq major-mode 'c++-mode))
                  (doxymacs-font-lock))))
      (define-key doxymacs-mode-map (kbd "C-c C-s") 'ff-find-other-file))))
(when (eval-after-autoload-if-found
        'doxymacs-mode "doxymacs" nil t nil
        '((setq doxymacs-doxygen-style "JavaDoc")
            (add-hook 'font-lock-mode-hook
                           '(lambda () (interactive)
                                (when (or (eq major-mode 'c-mode)
                                                (eq major-mode 'c++-mode))
                                    (doxymacs-font-lock))))
            (define-key doxymacs-mode-map (kbd "C-c C-s") 'ff-find-other-
file)))
 (add-hook 'c-mode-common-hook 'doxymacs-mode))
```

9.4. [matlab.el] Matlab 用の設定

```
(when (and (eq window-system 'ns) (= emacs-major-version 23))
  (autoload 'matlab-mode "matlab" "Enter Matlab mode." t)
  (setq auto-mode-alist (cons '("\\.m\\'" . matlab-mode) auto-mode-alist))
  (autoload 'matlab-shell "matlab" "Interactive Matlab mode." t))
```

9.5. [auto-complete.el] 自動補完機能

http://cx4a.org/software/auto-complete/manual.ja.html

- 辞書データを使う (ac-dictionary-directories)
- auto-complete.el, auto-complete-config.el, fuzzy.el, popup.el を使う。
- 日本語マニュアル
- ac-auto-start を 4 にしておけば、3 文字までは TAB を yasnippet に渡せる。

Org-mode ユーザにとって TAB は非常に重要なコマンド。そこに auto-complete と yasnippet が TAB を奪いに来るので、住み分けが重要になる。=ac-auto-start= を =4=にすると、<s=TAB= によるソースブロックの短縮入力を yasnippet で実行できる(この目的だけならば=3=を指定してもいい)。<sys などと4文字入力すると、 =auto-complete= が動いて <system> などを補完してくれる。もちろん、見出しで TAB を押すときには、ツリーの表示/非表示の切り替えになる。

情報源については、<u>オンラインマニュアル</u>を参照のこと。

```
(when (require 'auto-complete nil t)
 (require 'auto-complete-config nil t)
 (ac-config-default)
 (defun ac-org-mode-setup ()
                   (message " >> ac-org-mode-setup")
     (setq ac-sources '(
                                                                ac-source-abbrev
                                 ;;
; Emacs の略語
                                        ac-source-css-property; heavy
           ;;;
                                 ac-source-dictionary; 辞書
                                 ac-source-features
                                 ac-source-filename
                                 ac-source-files-in-current-dir
                                 ac-source-functions
                                 ;;
                                                                ac-source-gtags
                                                                 ac-source-imenu
                                 ;;
                                                                 ac-source-
                                 ;;
semantic
                                                                ac-source-
                                 ;;
symbols
                                 ;;
                                                                ac-source-
variables
                                 ;;
                                                                ac-source-
yasnippet
 (add-hook 'org-mode-hook 'ac-org-mode-setup)
 (defun ac-default-setup ()
                    (message " >> ac-default-setup")
     (setq ac-sources '(ac-source-abbrev
                                 ac-source-dictionary
                                 ac-source-words-in-same-mode-buffers)))
```

```
(setq ac-
sources (append '(ac-source-abbrev
ac-source-dictionary
ac-source-words-in-same-mode-buffers)
ac-sources)))
 (dolist (hook (list 'perl-mode-hook 'objc-mode-hook))
     (add-hook hook 'ac-default-setup))
 ;; *scratch* バッファでは無効化
 (add-hook 'lisp-mode-hook
                '(lambda () (unless (equal "*scratch*" (buffer-name))
                                    (ac-default-setup))))
 ;; ac-modes にあるメジャーモードで有効にする
 ;; lisp, c, c++, java, perl, cperl, python, makefile, sh, fortran, f90
 (global-auto-complete-mode t)
 ;; 追加のメジャーモードを設定
 (add-to-list 'ac-modes 'objc-mode)
 (add-to-list 'ac-modes 'org-mode)
 ;; 辞書
 (add-to-list 'ac-dictionary-directories (concat default-path "ac-dict"))
 ;; n文字以上で補完表示する("<s TAB" の場合 yasnippet が呼ばれる)
 (setq ac-auto-start 4)
 ;; n秒後にメニューを表示
 (setq ac-auto-show-menu 1.0)
 ;; ツールチップの表示
 (setq ac-use-quick-help t)
 (setq ac-quick-help-delay 2.0)
 (setq ac-quick-help-height 10)
 ;; C-n/C-p でメニューをたどる
 (setq ac-use-menu-map t)
 ;; TAB で補完 (org-mode でも効くようにする)
 (define-key ac-completing-map [tab] 'ac-complete)
 ;; RET での補完を禁止
 (define-key ac-completing-map "\r" nil)
 ;; 補完メニューの表示精度を高める
 (setq popup-use-optimized-column-computation nil))
;; (setq ac-candidate-max 10)
```

9.6. [auto-complete-clang.el] オムニ補完

C++バッファでメソッドを補完対象とする。try-catch を使っている場合、 -fcxx-exceptions オプションが必要で、これはプリコンパイルヘッダを生成する時も同じだ。この設定では、 ~/Dropbox/emacs.d/ 以下に stdafx.pch を生成する必要があるため、以下のコマンドを用いてプリコンパイルヘッダを生成する。ヘッダファイルのパスを適切に与えれば、Boost や自作のライブラリも補完対象に設定できる。

現状では、補完直後にデフォルトの引数がすべて書き込まれてしまう。なんかうまいこと したいものだ。

```
clang -cc1 -x c++-header -fcxx-exceptions ./stdafx.h -emit-pch -o ./stdafx.pch
-I/opt/local/include -I/opt/local/include/netpbm
```

以下の設定は、先に auto-complete.el に関する設定を読み込んでいることを前提としている。

次のコードを hoge.cpp として保存し、 $_{\forall}$ と $_{t}$ について補完できれば、 $_{\text{STL}}$ と $_{\text{Boost}}$ のプリコンパイルヘッダが有効になっていることを確認できる。

9.6.1. 参考サイト

- http://d.hatena.ne.jp/kenbell1988/20120428/1335609313
- http://d.hatena.ne.jp/whitypig/20110306/1299416655
- http://d.hatena.ne.jp/yano-htn/?of=30
- http://www.nomtats.com/2010/11/auto-completeelemacs.html
- http://www.plugmasters.com.br/plugfeed/post/73768/awesome-cc-autocompletion-in-emacs

9.7. [hideshowvis.el] 関数の表示/非表示

http://www.emacswiki.org/emacs/hideshowvis.el

9.7.1. キーバインド

Hide or show current block of souces

```
(global-set-key (kbd "C-(") 'hs-hide-block)
(global-set-key (kbd "C-)") 'hs-show-block)
```

10. Org Mode

10.1. 基本設定

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
' (
         (require 'org-install)
 (require 'org-extension nil t)
  (require 'org-habit)
  (require 'org-mobile)
  (setq auto-mode-alist
           (cons (cons "\\.org$" 'org-mode) auto-mode-alist))
  (push '("\\.txt\\'" . org-mode) auto-mode-alist)
 ;; Set checksum program path for windows
  (when (eq window-system 'w32)
      (setq org-mobile-checksum-binary "~/Dropbox/do/cksum.exe"))
 ;; org ファイルの集中管理
  (setq org-directory "~/Dropbox/org/")
 ;; Set default table export format
 (setg org-table-export-default-format "orgtbl-to-csv")
 ;; Toggle inline images display at startup
  (setq org-startup-with-inline-images t)
 ;; dvipng
  (setq org-export-with-LaTeX-fragments t)
  ;; org バッファ内の全ての動的ブロックを保存直前に変更する
 ;; (add-hook 'before-save-hook 'org-update-all-dblocks)
 ;; アーカイブファイルの名称を指定
 (setq org-archive-location "%s archive::")
  ;; タイムスタンプによるログ収集設定
```

```
(setq org-log-done t) ; t ではなく、'(done), '(state) を指定できる
;; ログをドロアーに入れる
(setq org-log-into-drawer t)
;; アンダースコアをエクスポートしない (_{}で明示的に表現できる)
(setq org-export-with-sub-superscripts nil)
;; タイマーの音
;; (lsetq org-clock-sound "");
))
```

10.2. contribution を使う

```
(setq load-path (append '("~/devel/git/org-mode/contrib/lisp") load-path))
```

10.3. iCal との連携

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'(;; ~/Dropbox/Public は第三者に探索される可能性があるので要注意
 ;; default = ~/org.ics
 ;; C-c C-e i org-export-icalendar-this-file
 ;; C-c C-e I org-export-icalendar-all-agenda-files
 ;; C-c C-e c org-export-icalendar-all-combine-agenda-files
 ;; (setq org-combined-agenda-icalendar-file "~/Dropbox/Public/orgAgenda.ics")
 (setq org-icalendar-combined-agenda-file "~/Dropbox/org/org-ical.ics")
 ;; iCal の説明文
  (setq org-icalendar-combined-description "OrgMode のスケジュール出力")
  ;; カレンダーに適切なタイムゾーンを設定する (google 用には nil が必要)
  (setq org-icalendar-timezone "Asia/Tokyo")
 ;; DONE になった TODO はアジェンダから除外する
  (setg org-icalendar-include-todo t)
 ;; (通常は、<>--<> で区間付き予定をつくる。非改行入力で日付が Note に入らない)
  (setq org-icalendar-use-scheduled '(event-if-todo))
             ;;; DL 付きで終日予定にする: 締め切り日 (スタンプで時間を指定しないこと)
 ;; (setq org-icalendar-use-deadline '(event-if-todo event-if-not-todo))
  (setq org-icalendar-use-deadline '(event-if-todo))
  (when (require 'ox-icalendar nil t)
      (defun my-ox-icalendar ()
        (interactive)
        (let ((temp-agenda-files org-agenda-files))
           (setq org-agenda-files '("~/Dropbox/org/org-ical.org"))
           ;; org-icalendar-export-to-ics を使うとクリップボードが荒れる
           (org-icalendar-combine-agenda-files)
           (setq org-agenda-files temp-agenda-files)
           (if (eq 0 (shell-command
                           (concat "scp -o ConnectTimeout=5 "
                                      org-icalendar-combined-agenda-file
                                      " orz:~/public html/ical")))
                 (message "Uploading ... [DONE]")
             (message "Uploading ... [MISS]"))
           (when (file-exists-p
                     (expand-file-name org-icalendar-combined-agenda-file))
```

10.4. スピードコマンド

10.5. Pomodoro

http://orgmode.org/worg/org-gtd-etc.html

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
' (
         (add-to-list 'org-modules 'org-timer)
         (setq org-timer-default-timer 25)
;; (add-hook 'org-clock-in-hook
;;
          '(lamda ()
;;
                  (if (not org-timer-current-timer)
                       (org-timer-set-timer '(16))))
;;
         (setq growl-pomodoro-default-task-name "doing the task")
         (setq growl-pomodoro-task-name 'growl-pomodoro-default-task-name)
         (defun set-growl-pomodoro-task-name ()
             (interactive "P")
             (setq growl-pomodoro-task-name
                     (read-from-minibuffer "Task Name: " growl-pomodoro-default-
task-name)))
         (add-hook 'org-timer-set-hook 'set-growl-pomodoro-task-name)
         (defun growl-pomodoro-timer ()
             (interactive)
             (shell-command-to-string
              (concat "growlnotify -s -a Emacs -t \"++ Pomodoro ++\" -m \""
                          "The end of " growl-pomodoro-task-name "!\""))
             (shell-command-to-string
                 (concat "say The end of " growl-pomodoro-task-name)
              (concat "say -v Kyoko " growl-pomodoro-task-name)
         (add-hook 'org-timer-done-hook 'growl-pomodoro-timer)
))
```

10.6. face 関連

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'(
```

```
;; Font lock を使う
  (global-font-lock-mode 1)
  (add-hook 'org-mode-hook 'turn-on-font-lock)
  ;; ウィンドゥの端で折り返す (想定と逆の振る舞い。どこかにバグがある)
  (setq org-startup-truncated nil)
  ;; サブツリー以下の * を略式表示する
  (setq org-hide-leading-stars t)
  ;; Color setting for TODO keywords
  ;; Color for priorities
  ;; (setq org-priority-faces
     '(("?A" :foreground "#E01B4C" :background "#FFFFFFF" :weight bold)
  ;;
        ("?B" :foreground "#1739BF" :background "#FFFFFF" :weight bold)
  ;;
        ("?C" :foreground "#575757" :background "#FFFFFF" :weight bold)))
  ;; Color setting for Tags
 ;; #CC3333
  (setg org-todo-keyword-faces
            '(("FOCUS" :foreground "#FF0000" :background "#FFCC66")
                        :foreground "#EE3300" :background "#FFEE99")
              ("OTW"
              ("CHECK" :foreground "#FF9900" :background "#FFF0F0" :underline
t)
              ("ICAL"
                        :foreground "#33CC66")
              ("WAIT"
                        :foreground "#CCCCCC" :background "#666666")
                        :foreground "#FF33CC")
              ("EDIT"
                        :foreground "#9933CC")
              ("READ"
                        :foreground "#CC3300")
              ("MAIL"
                        :foreground "#FF6600")
              ("PLAN"
              ("REV1"
                        :foreground "#3366FF")
              ("REV2"
                        :foreground "#3366FF" :background "#99CCFF")
              ("REV3"
                        :foreground "#FFFFFF" :background "#3366FF")
              ("STOP"
                       :foreground "#9999CC")))
  ;; (:foreground "#0000FF" :bold t) ; default. do NOT put this bottom
  (setq org-tag-faces
            '(("Achievement" :foreground "#66CC66")
                            :foreground "#66CC66")
              ("Report"
                            :foreground "#66CC99")
              ("Background"
                            :foreground "#6699CC")
              ("Chore"
                            :foreground "#6666CC")
              ("Domestic"
                            :foreground "#FF0000")
              ("Doing"
              ("Ongoing"
                            :foreground "#CC6666") ; for non
scheduled/reminder
              ("Repeat"
                           :foreground "#CC9999"); for interval tasks
              ("Mag"
                            :foreground "#9966CC")
              ("buy"
                            :foreground "#9966CC")
                            :foreground "#CC6699")
              ("pay"
              ("secret"
                           :foreground "#FF0000")
              ("note"
                           :foreground "#6633CC")
              ("print"
                            :foreground "#6633CC")
              ("Implements" :foreground "#CC9999" :weight bold)
                          :foreground "#CC9999")
              ("Coding"
              ("Editing"
                           :foreground "#CC9999" :weight bold)
                            :foreground "#CC9999" :weight bold)
              ("work"
                            :foreground "#CC9999" :weight bold)
              ("Survey"
                            :foreground "#CC9999" :weight bold)
              ("Home"
              ("Open"
                            :foreground "#CC9999" :weight bold)
              ("Blog"
                            :foreground "#FF33CC" :background "#9966CC")
              ("Test"
                            :foreground "#FF0000" :weight bold)
              ("DEBUG"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#9966CC")
              ("EVENT"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#9966CC")
```

```
("Thinking"
                             :foreground "#FFFFFF" :background "#96A9FF")
              ("Schedule"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#FF7D7D")
              ("INPUT"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#CC6666")
              ("OUTPUT"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#66CC99")
              ("CYCLE"
                             :foreground "#FFFFFF" :background "#6699CC")
              ("WEEKEND"
                            :foreground "#FFFFFF" :background "#66BB66")
              ("weekend"
                             :foreground "#FFFFFF" :background "#CC6666")
                             :foreground "#008500")))))
              ("Log"
;;#5BDF8D
```

10.7. TODO キーワードのカスタマイズ

キーワードには日本語も使えます。

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'((setq org-todo-keywords
            '((sequence "TODO(t)" "FOCUS(f)" "ICAL(c)" "|" "DONE(d)")
              (sequence "READ(r)" "EDIT(e)" "MAIL(m)" "PLAN(p)" "|")
              (sequence "CHECK(C)" "OTW(o)" "WAIT(w)" "STOP(s)" "|")
              (sequence "REV1(1)" "REV2(2)" "REV3(3)" "|")))
 ;; Global counting of TODO items
  (setq org-hierarchical-todo-statistics nil)
  ;; Global counting of checked TODO items
  (setq org-hierarchical-checkbox-statistics nil)
  ;; block-update-time
  (defun org-dblock-write:block-update-time (params)
      (let ((fmt (or (plist-get params :format) "%Y-%m-%d")))
        (insert "" (format-time-string fmt (current-time)))))
  ;; すべてのチェックボックスの cookies を更新する
  (defun do-org-update-statistics-cookies ()
      (interactive)
      (org-update-statistics-cookies 'all))
  ) )
```

10.8. ImageMagick を使って様々な画像をインライン表示する

システムに OpenJPEG と ImageMagick がインストールされていれば、JPEG 2000 などの画像形式もバッファに表示できます。

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-agenda "org" "Org Mode" t nil
'((setq org-image-actual-width '(256))
  (add-to-list 'image-file-name-extensions "jp2")
  ;; (add-to-list 'image-file-name-extensions "j2c")
  (add-to-list 'image-file-name-extensions "bmp")
  (add-to-list 'image-file-name-extensions "psd")))
```

次の例では、同じ画像を 2 度インライン表示しようと指定ますが、前者は横幅が 128 ピクセルで表示され、後者は org-image-actual-width で指定した 256 ピクセルで表示されます。

```
#+ATTR_HTML: :width 128
[[~/Desktop/lena_std.jp2]]

[[~/Desktop/lena_std.jp2]]

#+BEGIN_SRC emacs-lisp
(org-toggle-inline-images)
```

10.9. [org-agenda]

```
(custom-set-faces
;; '(org-agenda-clocking ((t (:background "#300020"))))
'(org-agenda-structure ((t (:underline t :foreground "#6873ff"))))
'(org-agenda-date-today ((t (:weight bold :foreground "#4a6aff"))))
'(org-agenda-date ((t (:weight bold :foreground "#6ac214"))))
'(org-agenda-date-weekend ((t (:weight bold :foreground "#ff8d1e"))))
'(org-time-grid ((t (:foreground "#0a4796"))))
'(org-warning ((t (:foreground "#ff431a"))))
'(org-upcoming-deadline ((t (:inherit font-lock-keyword-face))))
(eval-after-autoload-if-found
'org-agenda "org" "Org Mode" t nil
'(;; Set the view span as day in an agenda view, the default is week
  (setq org-agenda-span 'day)
  ;; アジェンダに警告を表示する期間
  (setq org-deadline-warning-days 7)
  ;; アジェンダビューで FOLLOW を設定
  ;; (setq org-agenda-start-with-follow-mode t)
  ;; Customized Time Grid
  (setq org-agenda-time-grid
            '((daily today require-timed)
              (800 1000 1200 1400 1600 1800 2000 2200 2400 2600)))
  (setq org-agenda-current-time-string "< d('- ' ) now!")</pre>
  (setg org-agenda-timegrid-use-ampm t)
  ;; アジェンダ作成対象(指定しないと agenda が生成されない)
  ;; ここを間違うと、MobileOrg, iCal export もうまくいかない
  (setq org-agenda-files
            '("~/Dropbox/org/org-ical.org" "~/Dropbox/org/next.org"
              "~/Dropbox/org/today.org" "~/Dropbox/org/buffer.org"
              "~/Dropbox/org/stock.org"
              "~/Dropbox/org/work.org" "~/Dropbox/org/research.org"))
  ;; 特定タグを持つツリーリストを一発移動 (org-tags-view, org-tree-slide)
  (defvar my-doing-tag "Doing")
  (defun my-sparse-doing-tree ()
      (interactive)
      (org-tags-view nil my-doing-tag))
  ;; Doing タグをトグルする
  (defun my-toggle-doing-tag ()
      (interactive)
      (when (eq major-mode 'org-mode)
        (save-excursion
            (save-restriction
              (unless (org-at-heading-p)
                  (outline-previous-heading))
              (if (string-match
                       (concat ":" my-doing-tag ":") (org-get-tags-string))
```

10.9.1. キーバインド

```
(global-set-key (kbd "<f11>") 'my-toggle-doing-tag)
(eval-after-autoload-if-found
  'org-agenda "org" "Org Mode" t nil
  '((define-key org-mode-map (kbd "C-c <f11>") 'my-sparse-doing-tree)))
```

10.10. [appt.el] アラーム設定

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'(;; アラーム表示を有効にする
  (appt-activate 1)
  ;; window を フレーム内に表示する
  (setq appt-display-format 'window)
  ;; window を継続表示する時間[s]
  (setq appt-display-duration 3)
  ;; ビープ音の有無
  (setq appt-audible t)
  ;; 何分前から警告表示を開始するか[m]
  (setq appt-message-warning-time 3)
  ;; モードラインにアラームを表示する
  (setq appt-display-mode-line t)
  ;; org-agenda の内容をアラームに登録する
  ;; (org-agenda-to-appt t '((headline "TODO")))
  (run-with-idle-timer
     300 t.
     '(lambda ()
        (org-agenda-to-appt t '((headline "TODO")))))
  ;; 保存時にアラームを登録
  ;; (add-hook 'org-mode-hook
              (lambda() (add-hook 'before-save-hook
  ;;
                                 'org-agenda-to-appt t '((headline
  ; ;
"TODO"))))
  ))
```

10.11. [org-capture] 高速にメモを取る

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-capture "org-capture" "Org Mode" t nil
'(
;; 2010-06-13 の形式では、タグとして認識されない
(defun get-current-date-tags () (format-time-string "%Y%m%d"))
(setq org-default-notes-file (concat org-directory "next.org"))
(defvar org-capture-words-notes-file (concat org-directory "words.org"))
(defvar org-capture-notes-file (concat org-directory "note.org"))
(defvar org-capture-research-file (concat org-directory "research.org"))
```

```
(defvar org-capture-buffer-file (concat org-directory "buffer.org"))
  (defvar org-capture-today-file (concat org-directory "today.org"))
  (defvar org-capture-ical-file (concat org-directory "org-ical.org"))
  ;; see org.pdf:p73
  (setq org-capture-templates
            `(("t" "TODO 項目を INBOX に貼り付ける" entry
                (file+headline nil "INBOX") "** TODO %?\n\t")
             ("c" "同期カレンダーにエントリー" entry
                (file+headline ,org-capture-ical-file "Schedule")
                "** TODO %?\n\t")
             ("d" "Doing タグ付きのタスクを Inbox に投げる" entry
                (file+headline nil "INBOX")
                "** TODO %? :Doing:\n - \n")
             ("1" "本日のチェックリズト" entry
                (file+headline ,org-capture-today-file "Today")
                "** FOCUS 本日のチェックリスト %T\n (起床時間の記録)
[[http://www.hayaoki-seikatsu.com/users/takaxp/][早起き日記]] \n(朝食) \n - []
%?\n(昼食)\n(帰宅/夕食)\n----\n(研究速報)\n - [ ] \n")
             ("i" "アイディアを書き込む" entry (file+headline nil "INBOX")
                "** %?\n - \n\t%U")
              ("b" "Bug タグ付きの TODO 項目を貼り付ける" entry
                (file+headline nil "INBOX")
                "** TODO %? :bug:\n %i\n %a %t")
             ("w" , (concat "英単語を " org-capture-words-notes-file
                                  " に書き込む") entry
                                  (file+headline ,org-capture-words-notes-
file "WORDS")
                                  "** %? :%(get-current-date-tags):\n [] \n -
")
             ("g" ,(concat "英語ノートを " org-capture-words-notes-file
                                  " に書き込む")
                entry (file+headline ,org-capture-words-notes-file "GRAMMER")
                "** %? :%(get-current-date-tags):\n\n%U")
             ("T" "時間付きエントリー" entry (file+headline nil "INBOX")
                "** %? %T--\n")
             ("n" "ノートとして INBOX に貼り付ける" entry
                (file+headline nil "INBOX")
                "** %? :note:\n\t%U")
             ("D" "「ドラッカー 365 の金言」をノートする" entry
                (file+headline ,org-capture-notes-file "The Daily Drucker")
                "** [%?] \nDrucker) \n - \n - \nACTION POINT:\n -
\nQUESTION:\n - \n")
             ("r" ,(concat "研究ノートを " org-capture-research-file
                                  " に書き込む")
                entry (file+headline ,org-capture-research-file "Survey")
                "** %? :note:\n# \n - \n\t%U")
             ("`",(concat "ノートをバッファ " org-capture-buffer-file
                                  " に書き込む")
                entry (file+headline ,org-capture-buffer-file "Buffer")
                "** %(get-random-string 16) %Un\n\%?\n\n----")))
  ))
```

10.12. [org-refile]

```
("work.org" :level . 1)
("next.org" :level . 1)
("sleep.org" :level . 1))))
```

10.13. [org-babel] 基本設定

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'((setq org-confirm-babel-evaluate nil)
  (setq org-src-fontify-natively t)
  (setq org-src-tab-acts-natively t)
  ;; 実装済みの言語に好きな名前を紐付ける
  (add-to-list 'org-src-lang-modes '("zsh" . sh))))
```

10.14. [org-babel] ソースブロックの入力キーをカスタマイズ

ソースブロックを入力するときは、 <+ TAB でテンプレートを高速に入力できます。しかし、利用する言語までは指定できないので、特定の内容について対応するコマンドを割り当てて起きます。以下の例を設定として追加すると、 <S+ TAB で emacs-lisp を、 <C+ TAB でコメントブロックを指定できます。

10.15. [MobileOrg] iOS との連携

http://orgmode.org/manual/Setting-up-the-staging-area.html

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
  ;;(setq orq-mobile-files '("~/Dropbox/orq/next.org" "1.org" "2.org"))
  (setg org-mobile-files '("~/Dropbox/org/next.org"))
                                                           ; (setq org-mobile-
force-id-on-agenda-items nil)
  ;; Set a file to capture data from iOS devices
  (setq org-mobile-inbox-for-pull (concat org-directory "captured.org"))
                                                           ; Upload location
stored org files (index.org will be created)
  (setq org-mobile-directory "~/Dropbox/Apps/MobileOrg/")
;;; Menu to push or pull org files using MobileOrg
  (defun org-mobile-sync ()
      (interactive)
      (let
            (org-mobile-sync-type
```

```
(read-from-minibuffer "How do you sync the org files? (pull or
push) "))
          (message "%s" org-mobile-sync-type)
          (cond
                ((string= "pull" org-mobile-sync-type)(org-mobile-pull))
                ((string= "push" org-mobile-sync-type)(org-mobile-push)))))
))
```

10.16. [org-tree-slide.el] Org でプレゼンテーション

http://pastelwill.jp/wiki/doku.php?id=emacs:org-tree-slide

Doing タグのトグルに f11 を割り当てたので、コンテンツモードへの切り替えは、異なるキーバインドに変更。

10.17. [org-fstree] ディレクトリ構造を読み取る

```
(eval-after-autoload-if-found
  'org-mode "org" nil t nil
  '((require 'org-fstree nil t)))
```

10.18. [calfw-org] calfw に org の予定を表示する

```
;; (defun cfw:resize-calendar ()
    (interactive)
;;
;;
    (when (eq major-mode 'cfw:calendar-mode)
;;
       (cfw:refresh-calendar-buffer nil)
      (message "Calendar resized.")))
;;
;; (defun open-calfw-agenda-org ()
    (interactive)
;;
;;
    (cfw:open-org-calendar))
;; (setq org-agenda-custom-commands
       '(("w" todo "FOCUS")
;;
          ("G" open-calfw-agenda-org "Graphical display in calfw"))))))
;;
```

10.19. [org-export-generic] エクスポート機能を拡張する

org-set-generic-type を使うことで、エクスポート機能を好みに拡張できる。 contrib の中の org-export-generic.el が必要なので注意する。

org-set-generic-type を .emacs に追記した後、 C-c C-e g <key-binding> と すればよい。 <key-binding> は org-set-generic-type で設定する値である。2つ目は、Markdown へのエクスポーターである。

```
(eval-after-autoload-if-found
 'org-export-generic "org-mode" nil t nil
  (org-set-generic-type
     "textile"
     '(:file-suffix
       ".textile"
       :key-binding ?T
       :title-format "Title: %s\n\n"
                            "Date: %s\n"
       ;; :date-format
       :date-export nil
       :toc-export
                       nil
                      nil
       :author-export
                       nil
       :tags-export
       :drawers-export nil
       :date-export
       :timestamps-export t
       :priorities-export nil
       :todo-keywords-export t
       :body-line-fixed-format "\t%s\n"
                                                          ;:body-list-prefix
"\n"
       :body-list-format "* %s"
       :body-list-suffix "\n"
       :body-bullet-list-prefix ("* " "** " "*** " "**** " "**** ")
       :body-number-list-format "# %s"
       :body-number-list-suffix "\n"
       :header-prefix ("" "" "#### " "##### " "##### ")
       :body-section-header-prefix ("h1. " "h2. " "h3. " "h4. " "h5. " "h6. ")
       :body-section-header-format "%s"
       :body-section-header-suffix ("\n\n")
       :body-header-section-numbers nil
       :body-header-section-number-format "%s) "
```

```
:body-line-format "%s\n"
     :body-newline-paragraph "\n"
     :bold-format "*%s*"
     :italic-format " %s "
     :underline-format "+%s+"
     :strikethrough-format "-%s-"
     :verbatim-format "`%s`"
     :code-format "@%s@"
     :body-line-wrap 75
     :blockquote-start "\n\n"
     :blockquote-end "\n\n"
     ))
(org-set-generic-type
"markdown"
'(:file-suffix
    ".markdown"
    :key-binding
                   "Title: %s\n"
    :title-format
                   "Date: %s\n"
    :date-format
    :toc-export
    :author-export t
    :tags-export
                    nil
    :drawers-export nil
    :date-export
                 t
    :timestamps-export t
    :priorities-export nil
    :todo-keywords-export t
    :body-line-fixed-format "\t%s\n"
    ;;:body-list-prefix "\n"
    :body-list-format "- %s"
    :body-list-suffix "\n"
    :header-prefix ("" "" "### " "#### " "##### " "##### ")
    :body-section-header-prefix ("" "" "#### " "##### " "##### " "##### ")
    :body-section-header-format "%s\n"
    :body-section-header-suffix (?= ?- "")
    :body-header-section-numbers nil
    :body-header-section-number-format "%s) "
    :body-line-format "%s\n"
    :body-newline-paragraph "\n"
    :bold-format "**%s**"
    :italic-format " %s "
    :verbatim-format "`%s`"
    :code-format "`%s`"
    :body-line-wrap 75
    ))
))
```

10.20. [org-odt] ODT 形式に出力

10.21. [org-crypt] ツリーを暗号化する

M-x org-encrypt-entryでカーソル位置のツリーを暗号化できます。復号は、 M-x org-decrypt-entry にて。ただし、バッファのバックアップファイルが生成されていることに気をつけてください。自分の場合は、バックアップファイルは外部ホストに同期されない設定にしてあるので、とりあえず問題なしと考えています。

M-x org-encrypt-entries で、特定のタグが付けられたツリーを一括処理することもできますが、私は安全性を考慮して使っていません。

なお、実戦投入には十分なテストをしてからの方がよいでしょう。org バッファを外部ホストと同期している場合、転送先のホストでも暗号化/復号ができるかを確認するべきです。他方のホストでツリーにドロワーが付くと、復号できなくなったりします。その時は慌てずにプロパティのドロワーを削除すれば OK です。

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-crypt "org" "Org Mode" t nil
'((setq org-crypt-key "<insert your key>")
;; org-encrypt-entries の影響を受けるタグを指定
(setq org-tags-exclude-from-inheritance (quote ("secret")))
;; 自動保存の確認を無効に
(setq org-crypt-disable-auto-save 'nil)))
```

10.22. README を常に org-mode で開く

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'((push '("[rR][eE][aA][dD][mM][eE]" . org-mode) auto-mode-alist)))
```

10.23. GrowInotify と org-mode でアラーム管理

growInotify と org-mode のバッファを組み合わせてアラームリストを管理しています。 アラームを org バッファに書き込むだけなので、とても楽です。機能としては、特定の org バッファに、時刻とアラームの内容を表の形式として保存しておくだけで、Emacs が

起動している限りにおいて growl がそのアラームを表示してくれます。つまり、アラームリストは org-mode の表で一覧化されているので、管理も楽ですし、見た目もわかりやすいです。

アラームとして解釈される表は、オプション、時刻(HH:MM 形式)、アラーム内容の3列で構成していればOKです。オプションの列にXを入れておくと、growl がStickyモードで動作するので、アラームを見逃しません。

アラームは複数登録することができます。不要になったアラームを削除するのは、単純に 表から当該の行を削除するだけで済みます。実際のところは、バッファが保存される時に アラームリストの変更が自動的にシステムに反映されるので、余計な作業は不要です。

set-alarms-from-file は、<u>utility.el</u>に記述した関数です。

```
(eval-after-autoload-if-found
'org-mode "org" "Org Mode" t nil
'((setq alarm-table "~/Dropbox/org/today.org")
  (add-hook 'after-save-hook 'set-alarm-hook)
  (run-at-time "00:00" nil 'set-alarms-from-file alarm-table)))
```

10.23.1. キーバインド

```
(when (eval-after-autoload-if-found
        'org-mode "org" "Org Mode" t nil
        '(;; (org-transpose-element) が割り当てられているので取り返す。
            (org-defkey org-mode-map "\C-\M-t" 'beginning-of-buffer)
            ;; (define-key org-mode-map (kbd "C-c 1")
            ;; 'org-export-icalendar-combine-agenda-files)
            (define-key org-mode-map (kbd "C-c 1") 'my-ox-icalendar)
            (define-key org-mode-map (kbd "C-c 2") 'do-org-update-statistics-
cookies)
            (define-key org-mode-map (kbd "C-c m") 'org-mobile-sync)
            (define-key org-mode-map (kbd "<f5>") 'org-narrow-to-subtree)
            (define-key org-mode-map (kbd "S-<f5>") 'widen)))
 (global-set-key (kbd "C-M-o") '(lambda () (interactive)
                                                  (show-org-buffer
 (global-set-key (kbd "C-M-c") '(lambda () (interactive)
                                                  (show-org-buffer "org-
ical.org")))
 (global-set-key (kbd "C-M-9") '(lambda () (interactive)
                                                  (show-org-buffer
"buffer.org")))
 (global-set-key (kbd "C-M-0") '(lambda () (interactive)
                                                  (show-org-buffer
"today.org")))
 (global-set-key (kbd "C-c l") 'org-store-link)
 (global-set-key (kbd "C-c a") 'org-agenda)
 (global-set-key (kbd "C-c r") 'org-capture))
```

10.24. その他

```
(defun describe-timer ()
 "A modified. see http://masutaka.net/chalow/2009-12-05-1.html"
 (interactive)
 (let ((tl timer-list) time
           (timer nil))
     (pop-to-buffer (get-buffer-create "*timer*"))
     (erase-buffer)
     (insert
      "TIME
                    FUNCTION\n"
     "----\n")
     (while tl
       (setq timer (car tl))
       (insert
        (concat
           (format-time-string "%m/%d %T"
                                       (list (aref timer 1)
                                               (aref timer 2)
                                               (aref timer 3)))
           (symbol-name (aref timer 5))
          "\n"))
       (setq tl (cdr tl)))))
```

10.25. org-mode の latex エクスポート関数をオーバーライド

```
;; (setq org-export-latex-classes
;; '(("article"
      "\\documentclass[11pt]{article}
;;
;; \\usepackage[AUTO] {inputenc}
;; \\usepackage[T1]{fontenc}
;; \\usepackage{graphicx}
;; \\usepackage{longtable}
;; \\usepackage{float}
;; \\usepackage{wrapfig}
;; \\usepackage{soul}
;; \\usepackage{amssymb}
;; \\usepackage{hyperref}"
       ("\\section{%s}" . "\\section*{%s}")
;;
       ("\\subsection{%s}" . "\\subsection*{%s}")
;;
       ("\\subsubsection{%s}" . "\\subsubsection*{%s}")
;;
       ("\\paragraph{%s}" . "\\paragraph*{%s}")
;;
       ("\\subparagraph{%s}" . "\\subparagraph*{%s}"))
;;
; ;
       ("report"
       "\\documentclass[11pt]{report}
;;
;; \\usepackage[AUTO]{inputenc}
;; \\usepackage[T1]{fontenc}
;; \\usepackage{graphicx}
;; \\usepackage{longtable}
;; \\usepackage{float}
;; \\usepackage{wrapfig}
;; \\usepackage{soul}
;; \\usepackage{amssymb}
;; \\usepackage{hyperref}"
       ("\\part{%s}" . "\\part*{%s}")
;;
       ("\\chapter{%s}" . "\\chapter*{%s}")
("\\section{%s}" . "\\section*{%s}")
;;
;;
        ("\\subsection{%s}" . "\\subsection*{%s}")
```

```
("\\subsubsection{%s}" . "\\subsubsection*{%s}"))
;;
        ("book"
        "\\documentclass[11pt]{book}
;;
;; \\usepackage[AUTO]{inputenc}
;; \\usepackage[T1]{fontenc}
;; \\usepackage{graphicx}
;; \\usepackage{longtable}
;; \\usepackage{float}
;; \\usepackage{wrapfig}
;; \\usepackage{soul}
;; \\usepackage{amssymb}
;; \\usepackage{hyperref}"
        ("\\part{%s}" . "\\part*{%s}")
;;
        ("\chapter{%s}" . "\chapter*{%s}")
("\section{%s}" . "\section*{%s}")
;;
;;
        ("\\subsection{%s}" . "\\subsection*{%s}")
;;
        ("\\subsubsection{%s}" . "\\subsubsection*{%s}"))
;;
       ("beamer"
;;
        "\\documentclass{beamer}
;;
;; \\usepackage[AUTO] {inputenc}
;; \\usepackage{graphicx}
;; \\usepackage{longtable}
;; \\usepackage{float}
;; \\usepackage{wrapfig}
;; \\usepackage{amssymb}
;; \\usepackage{hyperref}"
        org-beamer-sectioning)))
;;
```

11. フォント/配色関連

11.1. 正規表現を見やすくする

```
(set-face-foreground 'font-lock-regexp-grouping-backslash "#66CC99")
(set-face-foreground 'font-lock-regexp-grouping-construct "#9966CC")
```

11.2. 設定ファイルを見やすくする

generic-x を使えば、 /etc/hosts や /etc/apache2.conf に色を付けられる。

```
(require 'generic-x nil t)
```

11.3. カーソル行に色をつける

```
;; Color of the current line
;; Cite: http://murakan.cocolog-nifty.com/blog/2009/01/emacs-tips-1d45.html
;; see also http://www.emacswiki.org/cgi-bin/emacs/highlight-current-line.el
(global-hl-line-mode t)
(set-face-background 'hl-line "#DEEDFF")
```

11.4. カーソルの色

```
;; Cursor (see also takaxp-mac.el)
;(add-to-list 'default-frame-alist '(cursor-type . (hbar . 5)))
;(add-to-list 'default-frame-alist '(cursor-type . bar))
```

```
; (add-hook 'window-configuration-change-hook
(defun update-cursor-color ()
 (interactive)
 (if current-input-method (set-cursor-color "#91C3FF")
     (set-cursor-color "#AAAAAA")))
(update-cursor-color)
(run-with-idle-timer 10 t 'update-cursor-color)
(add-hook 'input-method-activate-hook
             (lambda () (set-cursor-color "#91C3FF")))
(add-hook 'input-method-inactivate-hook
             (lambda () (set-cursor-color "#AAAAAA")))
(when (and (eq window-system 'ns) (= emacs-major-version 23))
 ;; when IME is ON
 (mac-set-input-method-parameter
  "com.google.inputmethod.Japanese.base" 'title "G"))
(when (and (eq window-system 'ns) (>= emacs-major-version 24))
 ;; when IME is ON
 (mac-set-input-method-parameter
  "com.google.inputmethod.Japanese.base" 'title "グ"))
```

11.5. カーソルを点滅させない

```
;; Disable cursor blink (blink-cursor-mode -1)
```

11.6. カーソル位置のフォントを確認

M-x describe-char することで、カーソル位置のフォントの情報がポップで表示される。

11.7. フォント設定

表のような利用環境に対して、個別に設定を施しています。Windows と Linux は安定版の Emacs23 で、Mac は開発版の CocoaEmacs23 です。Mac では Emacs24 でもうまく表示できています。最近は、Migu 2M を気に入って使っています。

	ASCII	日本語
Мас	Monaco	ヒラギノ丸ゴ
Windows	Inconsolata	メイリオ
Linux	Inconsolata	MigMix

http://d.hatena.ne.jp/setoryohei/20110117/1295336454

```
(defun my-ja-font-setter (spec)
    (set-fontset-font nil 'japanese-jisx0208 spec)
```

```
(set-fontset-font nil 'katakana-jisx0201 spec)
     (set-fontset-font nil 'japanese-jisx0212 spec)
     (set-fontset-font nil '(#x0080 . #x024F) spec)
     (set-fontset-font nil '(#x0370 . #x03FF) spec)
     (set-fontset-font nil 'mule-unicode-0100-24ff spec))
 (defun my-ascii-font-setter (spec)
     (set-fontset-font nil 'ascii spec))
 (cond
  ;; CocoaEmacs
  ((eq window-system 'ns)
     (when (or (= emacs-major-version 23) (= emacs-major-version 24))
       (let
             ;; 1) Monaco, Hiragino/Migu 2M : font-size=12, -apple-hiragino=1.2
             ;; 2) Inconsolata, Migu 2M : font-size=14,
;; 3) Inconsolata, Hiragino : font-size=14,
                                            : font-size=14, -apple-hiragino=1.0
;; Fonts
              ((font-size 12)
           ((font-size 28); for mirroring presentation (1440x900)
            (ascii-font "Inconsolata")
               (ascii-font "Monaco")
               (ja-font "Migu 2M"))
           ;; (ja-font "Hiragino Maru Gothic Pro"))
            (my-ascii-font-setter (font-spec :family ascii-font :size font-
size))
           (my-ja-font-setter (font-spec :family ja-font :size font-size)))
       ;; Fix ratio provided by set-face-attribute for fonts display
       (setq face-font-rescale-alist
                  '(("^-apple-hiragino.*" . 1.0) ; 1.2
                    (".*Migu.*" . 1.2)
                    (".*Inconsolata.*" 1.0)
                    (".*osaka-bold.*" . 1.0)
                                                ; 1.2
                    (".*osaka-medium.*" . 1.0) ; 1.0
                    (".*courier-bold-.*-mac-roman" . 1.0) ; 0.9
                    ;; (".*monaco cy-bold-.*-mac-cyrillic" . 1.0)
                    ;; (".*monaco-bold-.*-mac-roman" . 1.0) ; 0.9
                    ("-cdac$" . 1.0)))
       ;; Anti aliasing with Quartz 2D
       (setq mac-allow-anti-aliasing t)))
  ((eq window-system 'w32); windows7
     (let
            ((font-size 14)
             (font-height 100)
             (ascii-font "Inconsolata")
            ;; (ja-font "Meiryo UI"))
             (ja-font "メイリオ"))
        (my-ja-font-setter
        (font-spec :family ja-font :size font-size :height font-height))
        (my-ascii-font-setter (font-spec :family ascii-font :size font-size)))
     (setq face-font-rescale-alist '((".*Inconsolata.*" . 1.0))); 0.9
  (window-system; for SuSE Linux 12.1
     (let
            ((font-size 14)
            (font-height 100)
```

11.7.1. フォントのインストール方法

Linux では次のように処理するだけでよく、意外と簡単。

- 1. ~/.fonts を作成する
- 2. フォントを 1.のディレクトリに置く
- 3. fc-cache -fv を実行
- 4. fc-list でインストールされているかを確認。

なお、Windows では、フォントファイルを右クリックして、インストールを選択するだけで OK。

11.7.2. フォントチェック用コード

サンプルの org ファイル を作って、見た目をチェックしています。バッファ内の桁数 チェックや、ASCII が漢字の半分の幅になっているかのチェックが楽になります。

11.8. 行間を制御する

```
(defvar init-line-spacing 0.2)
(defvar min-line-spacing 0.1)
(defvar max-line-spacing 0.8)

(set-default 'line-spacing init-line-spacing)
(defun cycle-line-spacing ()
   (interactive)
   (if (< line-spacing max-line-spacing)
        (setq line-spacing (+ line-spacing 0.1))
        (setq line-spacing min-line-spacing))
   (message "%.1f" line-spacing))

(defun reset-line-spacing ()
   (interactive)
   (setq line-spacing init-line-spacing)
   (message "%.1f" line-spacing))</pre>
```

11.9. フォントサイズを制御する

以下の設定は、標準のフォントサイズが 12pt で、日本語フォントに Migu 2M、英字フォントに Monaco を使う場合の設定です。フォントサイズの「増加」「減少」「初期化」「サイズ指定」が可能です。なお、15pt を超える場合はフレームサイズを 15 に強制補正するようにしています。手元のモニタを基準にしているので、ここはカスタマイズポイントだと思います。(そのうち変数化する予定です)

```
(defvar default-font-size 12)
(setq target-font-size default-font-size)
(defun increase-font-size ()
 (interactive)
 (setq target-font-size (+ target-font-size 1))
 (set-font-size target-font-size)
 (message "+1: %s" target-font-size)
 (takaxp:make-frame-height-ring))
(defun decrease-font-size ()
 (interactive)
 (setq target-font-size (- target-font-size 1))
 (set-font-size target-font-size)
 (message "-1: %s" target-font-size)
 (takaxp:make-frame-height-ring))
(defun reset-font-size ()
 (interactive)
 (set-font-size default-font-size)
 (setq target-font-size default-font-size)
 (message "0: %s" target-font-size)
 (takaxp:make-frame-height-ring))
(defun set-font-size-input (n)
 (interactive "nSize: ")
 (setq target-font-size n)
 (set-font-size target-font-size)
 (message "0: %s" target-font-size)
 (takaxp:make-frame-height-ring))
(defvar takaxp:ascii-font "Monaco")
(defun set-font-size (arg)
 (interactive "p")
 (let* ((font-size arg)
       (frame-width 80)
       (ja-font-scale 1.2)
       (ja-font "Migu 2M")
       (ascii-font takaxp:ascii-font))
   (my-ascii-font-setter (font-spec :family ascii-font :size font-size))
   (my-ja-font-setter (font-spec :family ja-font :size font-size))
   (setq face-font-rescale-alist
         ((".*Migu.*" . ,ja-font-scale)))
   (set-frame-width (selected-frame) frame-width)
   (reset-frame-height (frame-height))))
(defvar default-font-size 12)
(setq target-font-size default-font-size)
```

```
(defun increase-font-size ()
 (interactive)
 (setg target-font-size (+ target-font-size 1))
 (set-font-size target-font-size)
 (message "+1: %s" target-font-size))
(defun decrease-font-size ()
 (interactive)
 (setq target-font-size (- target-font-size 1))
 (set-font-size target-font-size)
 (message "-1: %s" target-font-size))
(defun reset-font-size ()
 (interactive)
 (set-font-size default-font-size)
 (setq target-font-size default-font-size)
 (message "0: %s" target-font-size))
(defun set-font-size-input (n)
 (interactive "nSize: ")
 (setg target-font-size n)
 (set-font-size target-font-size)
 (message "0: %s" target-font-size))
(defun set-font-size (arg)
 (interactive "p")
 (let* ((font-size arg)
       (frame-width 80)
       (ja-font-scale 1.2)
       (ja-font "Migu 2M")
       (ascii-font "Monaco"))
   (my-ascii-font-setter (font-spec :family ascii-font :size font-size))
   (my-ja-font-setter (font-spec :family ja-font :size font-size))
   (setq face-font-rescale-alist
         ((".*Migu.*" . ,ja-font-scale)))
   (set-frame-size (selected-frame) frame-width frame-height)))
```

11.9.1. キーバインド

以下のキーバインドは、face-remap.el が提供する text-scale-adjust のキーバインドを上書きします。text-scale-adjust をそのまま使うと、日本語フォントが制御されないので、オーバーライドしてしまっても OK だと思います。

```
(global-set-key (kbd "C-x C-=") 'increase-font-size)
(global-set-key (kbd "C-x C--") 'decrease-font-size)
(global-set-key (kbd "C-x C-0") 'reset-font-size)
(global-set-key (kbd "C-x C-9") 'fit-frame-to-fullscreen)
```

11.10. パッチをカラフルに表示する

Built-in の diff-mode.el をカスタマイズします。

現在試験中。

```
(setq ediff-window-setup-function 'ediff-setup-windows-plain)
```

http://d.hatena.ne.jp/syohex/20111228/1325086893

11.11. 背景を黒系色にする

11.12. [rainbow-mode.el] 配色のリアルタイム確認

M-x rainbow-mode とすると、色指定のコードの背景色を、その指定色にリアルタイム変換してくれる。

http://elpa.gnu.org/packages/rainbow-mode.html

```
(eval-after-autoload-if-found 'rainbow-mode "rainbow-mode" nil t)
```

11.12.1. 色一覧

```
0,6,9,C,F の組み合わせ
```

```
#000000 #000033 #000066 #000099 #0000CC #0000FF
#003300 #003333 #003366 #003399 #0033CC #0033FF
#006600 #006633 #006666 #006699 #0066CC #0066FF
#009900 #009933 #009966 #009999 #0099CC #0099FF
#00CC00 #00CC33 #00CC66 #00CC99 #00CCCC #00CCFF
#00FF00 #00FF33 #00FF66 #00FF99 #00FFCC #00FFFF
#330000 #330033 #330066 #330099 #3300CC #3300FF
```

```
#333300 #333333 #333366 #333399 #3333CC #3333FF
#336600 #336633 #336666 #336699 #3366CC #3366FF
#339900 #339933 #339966 #339999 #3399CC #3399FF
#33CC00 #33CC33 #33CC66 #33CC99 #33CCCC #33CCFF
#33FF00 #33FF33 #33FF66 #33FF99 #33FFCC #33FFFF
#660000 #660033 #660066 #660099 #6600CC #6600FF
#663300 #663333 #663366 #663399 #6633CC #6633FF
#666600 #666633 #666666 #666699 #6666CC #6666FF
#669900 #669933 #669966 #669999 #6699CC #6699FF
#66CC00 #66CC33 #66CC66 #66CC99 #66CCCC #66CCFF
#66FF00 #66FF33 #66FF66 #66FF99 #66FFCC #66FFFF
#990000 #990033 #990066 #990099 #9900CC #9900FF
#993300 #993333 #993366 #993399 #9933CC #9933FF
#996600 #996633 #996666 #996699 #9966CC #9966FF
#999900 #999933 #999966 #999999 #9999CC #9999FF
#99CC00 #99CC33 #99CC66 #99CC99 #99CCCC #99CCFF
#99FF00 #99FF33 #99FF66 #99FF99 #99FFCC #99FFFF
#CC0000 #CC0033 #CC0066 #CC0099 #CC00CC #CC00FF
#CC3300 #CC3333 #CC3366 #CC3399 #CC33CC #CC33FF
#CC6600 #CC6633 #CC6666 #CC6699 #CC66CC #CC66FF
#CC9900 #CC9933 #CC9966 #CC9999 #CC99CC #CC99FF
#CCCC00 #CCCC33 #CCCC66 #CCCC99 #CCCCCC #CCCCFF
#CCFF00 #CCFF33 #CCFF66 #CCFF99 #CCFFCC #CCFFFF
#FF0000 #FF0033 #FF0066 #FF0099 #FF00CC #FF00FF
#FF3300 #FF3333 #FF3366 #FF3399 #FF33CC #FF33FF
#FF6600 #FF6633 #FF6666 #FF6699 #FF66CC #FF66FF
#FF9900 #FF9933 #FF9966 #FF9999 #FF99CC #FF99FF
#FFCC00 #FFCC33 #FFCC66 #FFCC99 #FFCCCC #FFCCFF
#FFFF00 #FFFF33 #FFFF66 #FFFF99 #FFFFCC #FFFFFF
```

12. フレーム/ウィンドウ制御

12.1. 起動時の設定

```
;; To avoid an error setting up the frame width (only for Emacs23)
 ; (set-frame-width (selected-frame) 81)
 ; (set-frame-width (selected-frame) 80)
 ;; Default window position to show a Emacs frame
 ;; Dynabook UX: top=0, left=0, width=80, height=32
 (cond
  ((eq window-system 'ns); for Macintosh
     (setq initial-frame-alist
              (append
               '((top . 22); Y-pos from (0,0) the height of menu bar is 22pix.
                   (left \cdot 0); X-pos from (0,0); 420 is the center for MBP
                  ;; 26 is the setting for Butler's Docklet
                  ;; 837 is the setting for right side for MBP
                   (width . 80); Width : character count
               (height . 30); Height : character count
;;
                   (alpha . (100 90))
                   (vertical-scroll-bars . nil)
                  ) initial-frame-alist)))
  ((eq window-system 'x); for Linux
     (setq initial-frame-alist
              (append
               '((vertical-scroll-bars . nil)
                   (top . 0)
                   (left . 0)
                   (width . 80)
                   (height . 38)
                  ) initial-frame-alist)))
                          ; for Windows
     (setq initial-frame-alist
              (append
               '((vertical-scroll-bars . nil)
                   (top . 0)
                   (left . 0)
                   (width . 80)
                   (height . 26)
                  ) initial-frame-alist))))
 ;; Apply the initial setting to default
 (setq default-frame-alist initial-frame-alist)
```

12.2. [elscreen.el] Emacs バッファをタブ化

12.3. [e2wm.el] 二画面表示

1. http://github.com/kiwanami/emacs-window-

manager/raw/master/e2wm.el

2. http://github.com/kiwanami/emacs-window-layout/raw/master/window-layout/raw/master/window-layout.el

```
(when (autoload-if-found 'e2wm:dp-two "e2wm" nil t)
 (eval-after-load "e2wm"
   '(progn
      (setq e2wm:c-two-recipe
           '(- (:lower-size 10)
              (| left right)
              sub))
      (setq e2wm:c-two-winfo
           '((:name left )
            (:name right )
            (:name sub :default-hide t)))
     ;; left, prev
     (setq e2wm:c-two-right-default 'left)
     ;; To avoid rebooting issue when using desktop.el and recentf.el
     (add-hook 'kill-emacs-hook 'e2wm:stop-management))))
(eval-after-autoload-if-found
'e2wm:dp-two "e2wm" nil t nil
'((setq e2wm:c-two-recipe
            '(- (:lower-size 10)
                  (| left right)
                  sub))
  (setq e2wm:c-two-winfo
            '((:name left )
               (:name right )
              (:name sub :default-hide t)))
  ;; left, prev
  (setq e2wm:c-two-right-default 'left)
  ;; To avoid rebooting issue when using desktop.el and recentf.el
  (add-hook 'kill-emacs-hook 'e2wm:stop-management)))
```

12.4. [frame-ctr.el] キーボードでフレームの場所を移す

拙作の frame-ctr.el を使います。e2wm.el と frame-cmds.el に依存しています。

frame-ctr.el は、frame-cmds, frame-fns と e2wm.el を利用したアドホックなフレーム管理ツールです。

- 1. http://www.emacswiki.org/emacs/download/frame-cmds.el
- 2. http://www.emacswiki.org/emacs/download/frame-fns.el

12.4.1. キーバインド

```
;; Move the frame to somewhere (default: 0,0)
(global-set-key (kbd "M-0") 'move-frame-with-user-specify)
;; Move the frame to left side of the current position (require 'frame-cmds)
(global-set-key (kbd "M-1") '(lambda () (interactive) (move-frame-left 200)))
;; Move the frame to the center of the window display (require 'frame-ctr)
(global-set-key (kbd "M-2") 'move-frame-to-center)
;; Move the frame to right side of the current position (require 'frame-cmds)
(global-set-key (kbd "M-3") '(lambda () (interactive) (move-frame-right 200)))
;; Set the frame width single size
;; C-u C-x - => e2wm OFF, single size width and double height, move center
(global-set-key (kbd "C-x -") 'change-frame-width-single)
;; Set the frame width double size
;; C-u C-x = => e2wm ON, double size width and height, move to the center
(global-set-key (kbd "C-x =") 'change-frame-width-double)
;; Move the current frame to the top of the window display
(global-set-key (kbd "<f1>") 'move-frame-to-edge-top)
;; Move the current frame to the bottom of the window display
(global-set-key (kbd "S-<f1>") 'move-frame-to-edge-bottom)
;; Cycle heights
(global-set-key (kbd "<f2>") 'frame-ctr-open-height-ring)
```

12.5. [popwin.el] ポップアップウィンドウの制御

https://github.com/m2ym/popwin-el/

popwin:display-buffer を autoload してもうまくいかない。

```
'(("CAPTURE-next.org" :height 10 :position bottom :noselect
t)
                    ("CAPTURE-org-ical.org" :height 10 :position bottom
:noselect t)
                    ("*Org-todo*"
                                     :height 10 :position bottom)
                    ("*Calendar*"
                                     :height 10 :position bottom)
                    ("*wclock*"
                                     :height 10 :position bottom)
                    ("*Org Agenda*" :height 10 :position bottom)
                    ("*Agenda Commands*" :height 10 :position bottom)
                    ("*Org Select*" :height 10 :position bottom)
                    ("*Occur*"
                                     :height 10 :position bottom)
                 ("*sdic*"
                                 :height 10 :position top)
 ;;
                 ("dict-app-result" :height 10 :position bottom :stick t)
 ;;
                    ("*anything*"
                                     :height 10 :position bottom)
                 (undo-tree-visualizer-buffer-name : height 10 :position top)
                 (undo-tree-diff-buffer-name :height 20 :position bottom)
; ;
                    ("*undo-tree*" :height 10 :position top)
                    ("*undo-tree Diff**" :height 20 :position bottom)
                    ("*anything M-x*" :height 10 :position bottom)
                    ("*anything complete*"
                                              :height 10 :position bottom)
                    ("*my-anything*" :height 10 :position bottom)
                    ("*my-anything-buffer*" :height 10 :position bottom)
                                   ("*cfw-calendar*" :height 40 :position top)
                    ("*eshell*"
                                     :height 10 :position bottom))
                  popwin:special-display-config)))
```

13. ユーティリティ関数

13.1. [pomodoro.el] ポモドーロの実践

@syohex さん謹製の pomodoro.el に少しカスタマイズしたおれおれ pomodoro.el を使っています。以下のように設定すると、ポモドーロの残り時間は表示せず、アイコンだけをモードラインに表示できます。残り時間は M-x pomodoro:mode-line-time-display-toggle すれば、いつでも表示できます。

pomodoro:finish-work-hook 、 pomodoro:finish-rest-hook 、 pomodoro:long-rest-hook にそれぞれ結びつけてあるのは、Mac のスピーチ機能です。この例では、Kyoko さんが指示を出してくれます。

M-x pomodoro:start すると、ポモドーロが始まり、8 時間後に pomodoro:stop が 呼ばれてポモドーロが終了します。pomodoro は機械的に仕事をしたい人にピッタリで す。人によっては GTD よりも取っ付きやすいと思います。

```
(eval-after-autoload-if-found
'pomodoro:start "pomodoro" nil t nil
'(;; 作業時間終了後に開くファイルを指定しない
    (setq pomodoro:file nil)

;; ●だけで表現する (残り時間表示なし)
;; (setq pomodoro:mode-line-time-display nil)
```

```
;; 長い休憩に入るまでにポモドーロする回数
      (setq pomodoro:iteration-for-long-rest 2)
      ;; 作業時間関連
                                     ; 作業時間
      (setq pomodoro:work-time 120
                                      ; 休憩時間
             pomodoro:rest-time 20
             pomodoro:long-rest-time 60 ; 長い休憩時間
             pomodoro:max-iteration 16) ; ポモドーロする回数
      ;; タイマーの表示をノーマルフェイスにする
      (set-face-bold-p 'pomodoro:timer-face nil)
      ;; 作業中(赤)、休憩中(青)、長い休憩中(緑)にする
      (set-face-foreground 'pomodoro:work-face "#F53838")
      (set-face-foreground 'pomodoro:rest-face "#3869FA")
      (set-face-foreground 'pomodoro:long-rest-face "#00B800")
      (defvar my-pomodoro-speak nil)
      (defun my-pomodoro-speak-toggle ()
        (interactive)
        (setq my-pomodoro-speak (not my-pomodoro-speak)))
      ;; Mac ユーザ向け。Kyokoさんに指示してもらう
      (add-hook 'pomodoro:finish-work-hook
                   (lambda ()
                       (let ((script (concat "say -v Kyoko "
                                         (number-to-string (floor
pomodoro:rest-time))
                                         "分間、休憩レろ")))
                         (if my-pomodoro-speak
                               (shell-command-to-string script)
                             (message "%s" script)))))
      (add-hook 'pomodoro:finish-rest-hook
                   (lambda ()
                       (let ((script (concat "say -v Kyoko "
                                       (number-to-string (floor
pomodoro:work-time))
                                       "分間、作業レろ")))
                         (if my-pomodoro-speak
                               (shell-command-to-string script)
                             (message "%s" script)))))
      (add-hook 'pomodoro:long-rest-hook
                   (lambda ()
                       (let ((script (concat "say -v Kyoko これから"
                                       (number-to-string (floor
pomodoro:long-rest-time))
                                       "分間の休憩です")))
                         (if my-pomodoro-speak
                               (shell-command-to-string script)
                             (message "%s" script)))))))
```

13.2. [utility.el] 自作してテスト中の便利関数群

関数定義を<u>別ファイル</u>に分離して、Emacs 起動の高速化を図っています。各関数を autoload の管理下において、必要なときにロードするように設定しています。

```
(when (eval-after-autoload-if-found
              '(eval-org-buffer takaxp:date
                kyoko-mad-mode-toggle org2dokuwiki-cp-kill-ring
                open-current-directory set-alarms-from-file takaxp:open-file-ring
                show-org-buffer get-random-string init-auto-install
                add-itemize-head insert-formatted-current-date
                insert-formatted-current-time insert-formatted-signature
                export-timeline-business export-timeline-private reload-ical-
export
                browse-url-chrome count-words-buffer do-test-applescript
                my-window-resizer)
              "utility" nil t)
            '((message "Loading utility.el ... [done]")))
;;
      (global-set-key (kbd "<f12>") 'takaxp:open-file-ring)
      (global-set-key (kbd "M-4") 'my-window-resizer))
;; Editing with a rectangle region
(global-set-key (kbd "C-x r C-SPC") 'rm-set-mark)
(global-set-key (kbd "C-x r C-x") 'rm-exchange-point-and-mark)
(global-set-key (kbd "C-x r C-w") 'rm-kill-region)
(global-set-key (kbd "C-x r M-w") 'rm-kill-ring-save)
```

14. provide

```
(provide 'init)
```